

令和5年度全国学力・学習状況調査結果の考察

苫小牧市

公表

令和5年8月18日

苫小牧市教育委員会 教育部 指導室

目 次

○令和5年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

・調査の概要	1
・小学校国語科	2
・小学校算数科	3
・中学校国語科	4
・中学校数学科	5
・中学校英語科	6

○令和5年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学6年児童）調査の結果と考察

・学習に対する興味・関心等（国語）	7
・学習に対する興味・関心等（算数）	9
・学習に対する興味・関心等（英語）	10
・規範意識・自己有用感	11
・生活習慣・学習習慣	13
・地域や社会への関心	15
・I C Tの活用	16
・学校生活	16

○令和5年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学3年生徒）調査の結果と考察

・学習に関する興味・関心等（国語）	20
・学習に関する興味・関心等（数学）	22
・学習に関する興味・関心等（英語）	23
・規範意識・自己有用感	26
・生活習慣・学習習慣	28
・地域や社会への関心	30
・I C Tの活用	31
・学校生活	31

○令和5年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

・学力向上に向けた取組＜I C Tの活用＞	35
・学力向上に向けた取組＜小中連携の取組＞	36

令和5年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

令和5年8月18日 苫小牧市教育委員会

- ・平均正答率については、四捨五入した整数値で公表しております。
- ・平成30年度まで国語と算数・数学は、A問題（主として知識に関する問題）、B問題（主として活用に関する問題）に分かれて実施されていましたが、平成31年度調査より知識・活用を一体的に問う調査問題と変更されました。
- ・令和2年度全国学力・学習状況調査は新型コロナウイルス感染症に係る影響のため中止となり、児童生徒質問紙のみ実施しました。令和2年度の数値は参考値となります。

調査の概要

- 1 実施日
令和5年4月18日（火）
- 2 調査対象
(1) 小学校第6学年
(2) 中学校第3学年
- 3 対象学校数及び児童生徒数

	小学校		中学校	
	学校数	児童数	学校数	生徒数
苫小牧市	23	1,375	15	1,279
北海道	947	35,657	571	34,259

※小学校数には、義務教育学校前期課程、中学校数には、義務教育学校後期課程を含む。

- 4 調査事項
(1) 教科に関する調査
小学校…国語、算数の2教科
中学校…国語、数学及び英語の3教科
(2) 生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査
①児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
②学校に対する調査（指導方法、教育条件の整備等）

苫小牧市の小・中学校における全体的な傾向

（学力に関すること）

- ★小学校国語の平均正答率は全国平均より3％程度の差があります。
- ★中学校国語の平均正答率は全国平均より2％程度の差があります。
- ★小学校算数及び中学校数学の平均正答率は全国平均より5％程度の差があります。
- ★中学校英語の平均正答率は全国平均と8％程度の差があります。
- ☆児童質問紙から、小学校では、「平日及び休日の1日当たりの学習時間。」において、1時間以上学習していると回答した割合が全国平均を上回っています。
- ★生徒質問紙から、中学校では、「平日及び休日の1日当たりの学習時間。」において、2時間以上学習していると回答した割合が全国平均を大きく下回っています。

（学校生活に関すること）

- ☆児童生徒質問紙から、小・中学校ともに「先生は、あなたのよいところを認めてくれている。」において、肯定的に回答した割合が全国平均を上回っています。

（いじめに関すること）

- ☆児童生徒質問紙から、小・中学校ともに、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ。」と回答した割合が、全国平均を上回っています。

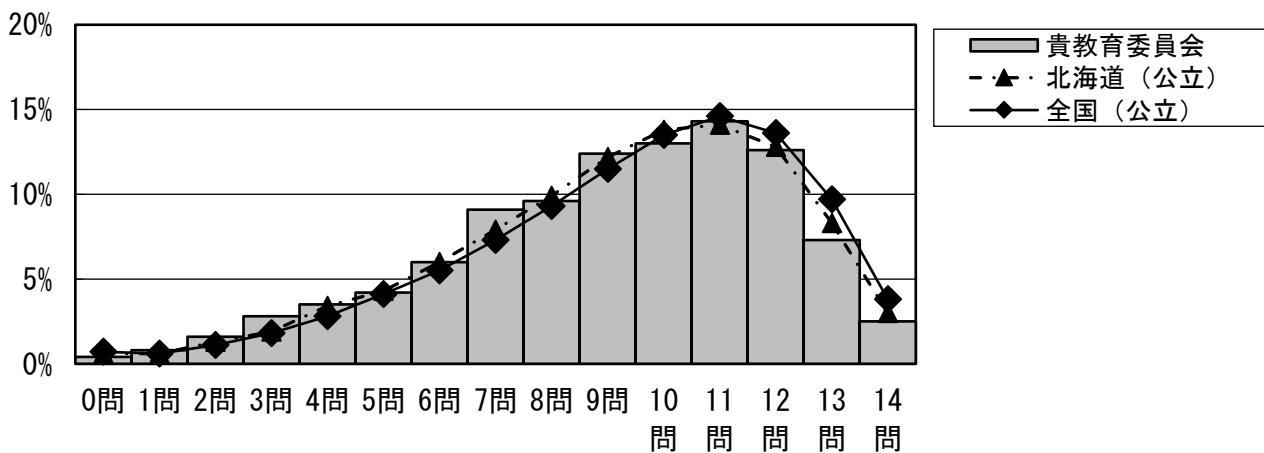
（ICT機器の活用に関すること）

- ★ICT機器の活用については、活用頻度及び方法に課題が見られました。

調査結果概況 [国語]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



小学校 国語科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	9.0 / 14	64
北海道	9.2 / 14	66
全国	9.4 / 14	67.2

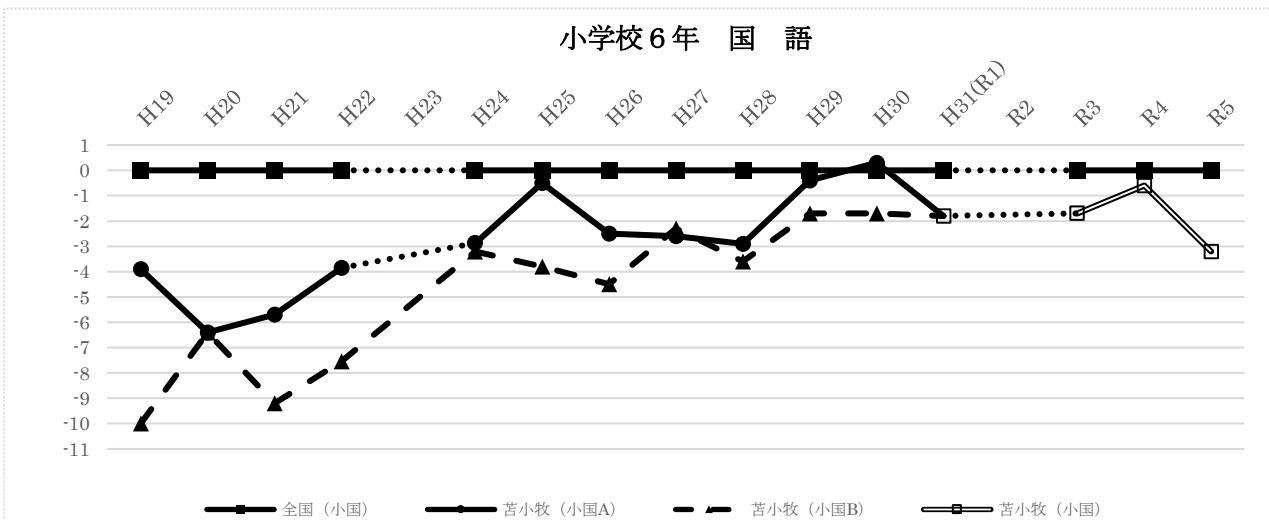
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



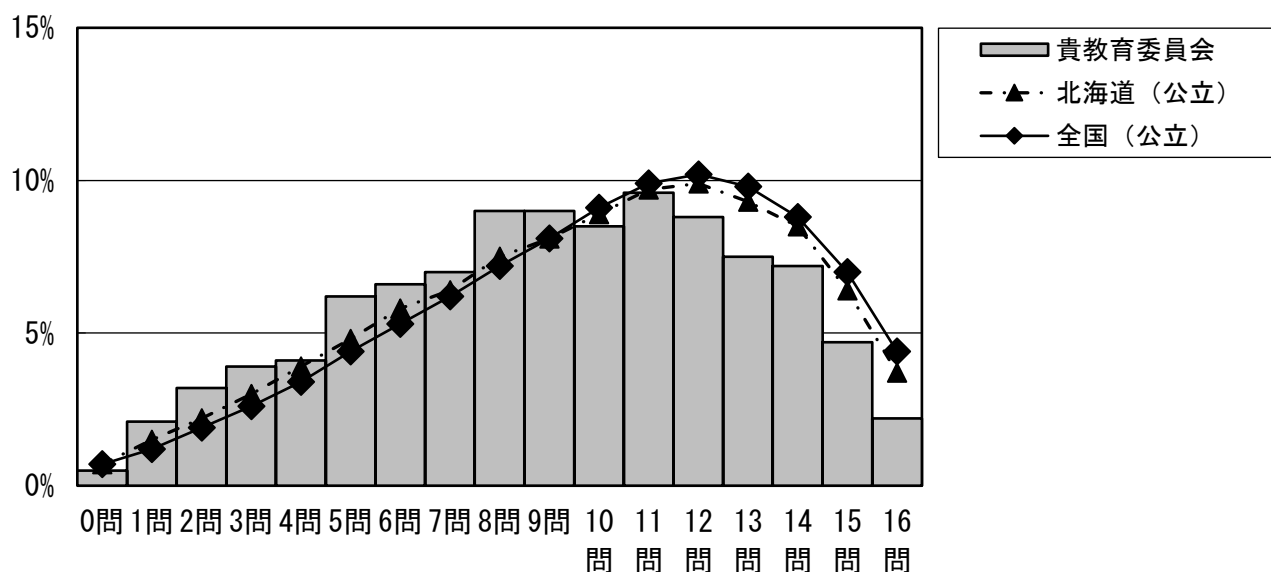
分析と考察

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」における漢字の送り仮名を答える問題において、平均正答率が約90%であり、全国平均と同等です。漢字を文の中で正しく使うことができています。
- 「情報の扱い方に関する事項」では、原因と結果など情報と情報との関係について答える問題や図などから語句と語句との関係について答える問題について全国平均を下回っており、課題が見られます。
- 「書くこと」では、条件に合わせて自分の主張が明確に伝わるように60字から100字にまとめることについて、全国平均を下回っています。また、無解答率が9%であり、課題が見られます。

調査結果概況 [算数]

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



小学校 算数科に関する調査結果

	平均正答数（問／出題数）	平均正答率（％）
苫小牧市	9.1 / 16	57
北海道	9.8 / 16	61
全国	10.0 / 16	62.5

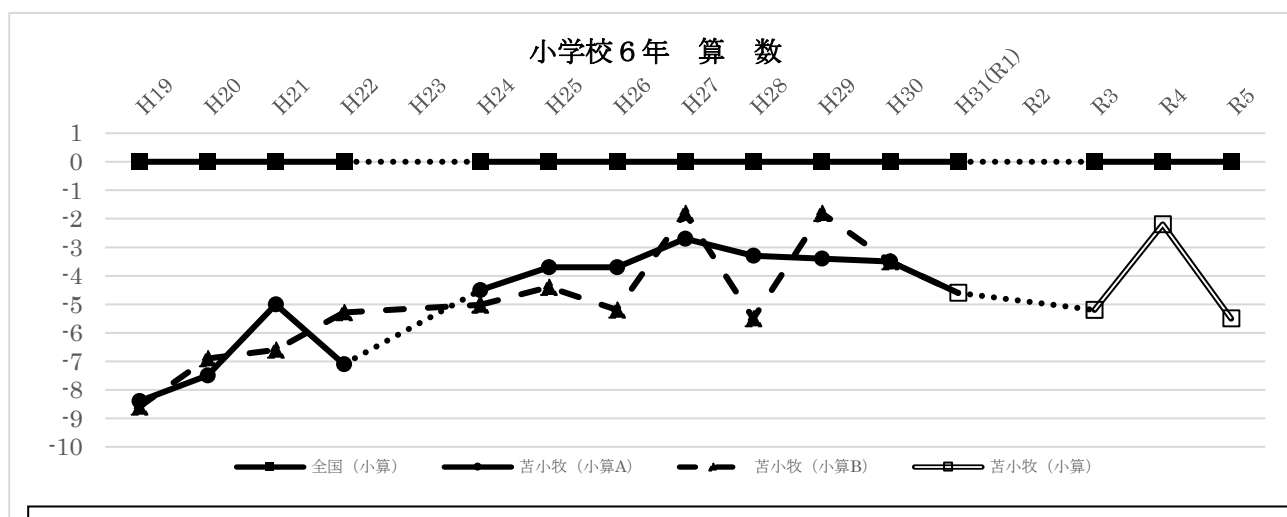
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



分析と考察

○ 伴って変わる2つの数量の関係について考える問題において、平均正答率が80%以上ある問題があり、比例に関する知識・技能の定着が見られます。

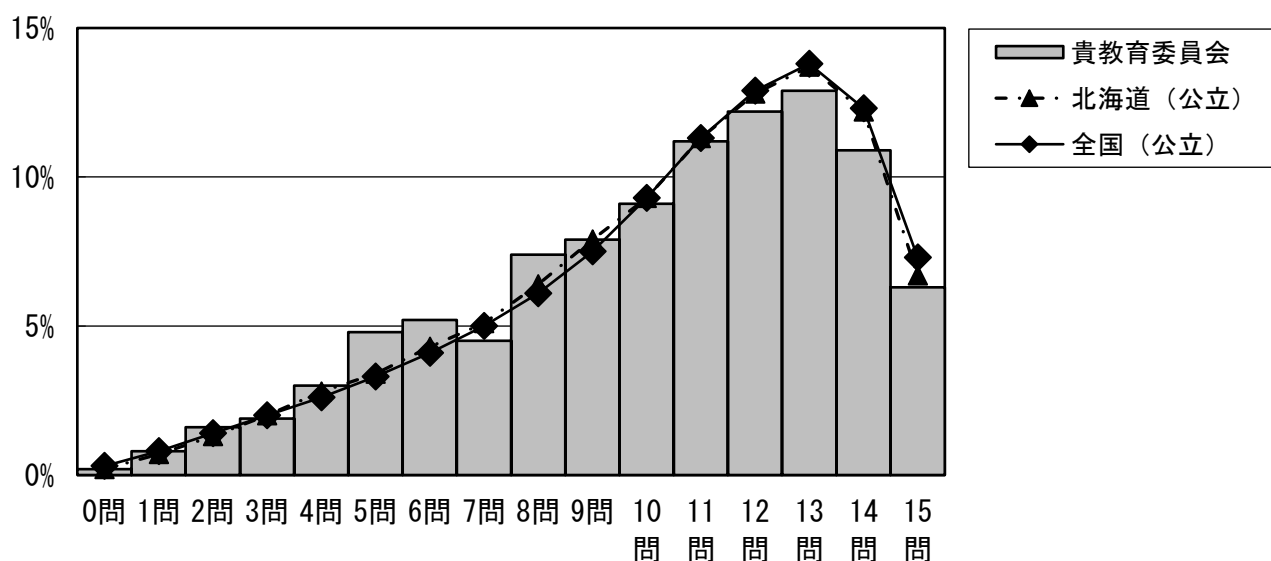
● 「記述式」の正答率が全国平均を下回っています。二つの三角形の面積を求めることについての説明や、あることがらについての結果を式や言葉を使って書くことなど数学的に表現することに課題が見られます。

● 「思考・判断・表現」に関する資質・能力が弱いことから、日々の授業の中で問題発見・解決する過程を重視した授業改善が必要であるとうかがえます。

調査結果概況 [国語]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



中学校 国語科に関する調査結果

	平均正答数 (問/出題数)	平均正答率 (%)
苫小牧市	10.1 / 15	68
北海道	10.4 / 15	69
全国	10.5 / 15	69.8

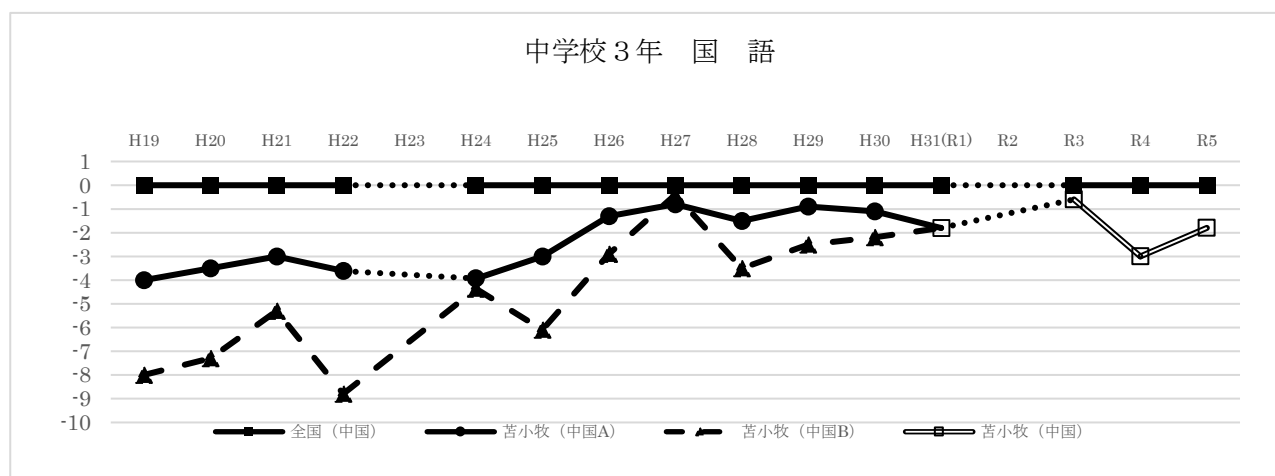
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



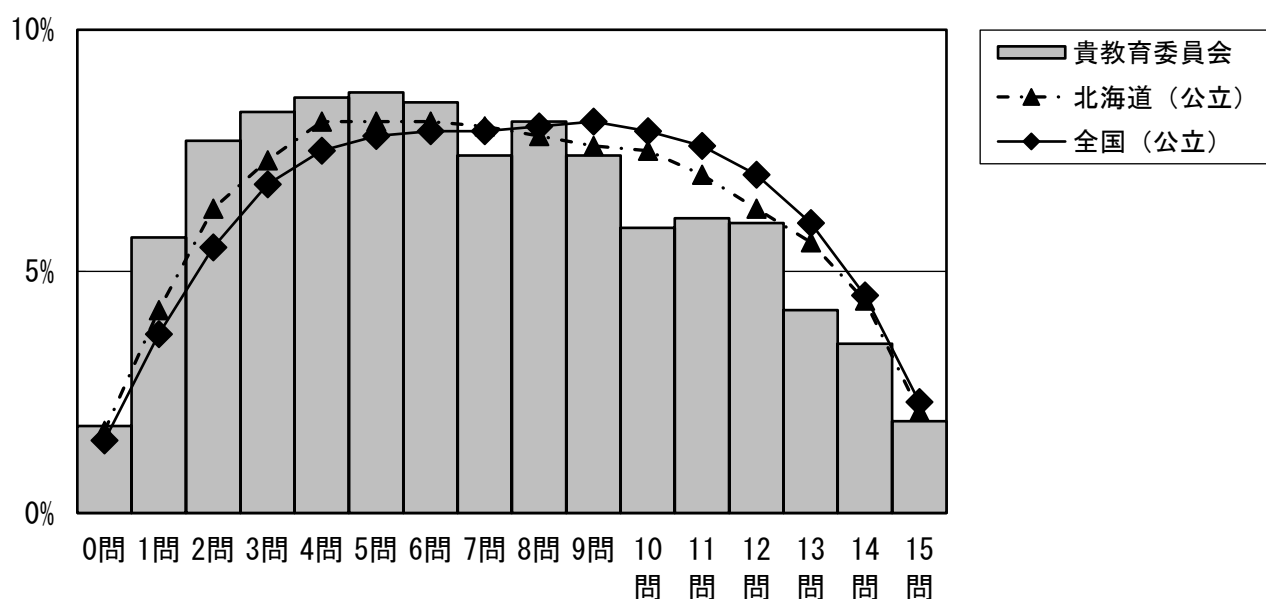
分析と考察

- 「話すこと・聞くこと」では、平均正答率が約80%であり、全国平均と同等です。インタビューする際の内容を検討したり、目的に沿って自分の考えをまとめたりすることができています。
- 「書くこと」では、全国平均を下回っています。読み手の立場になって、叙述の仕方などを確かめて文章を整えることや根拠を明確にして書くことに課題が見られます。

調査結果概況 [数学]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



中学校 数学科に関する調査結果

	平均正答数（問／出題数）	平均正答率（％）
苫小牧市	6.9 / 15	46
北海道	7.4 / 15	49
全国	7.6 / 15	51.0

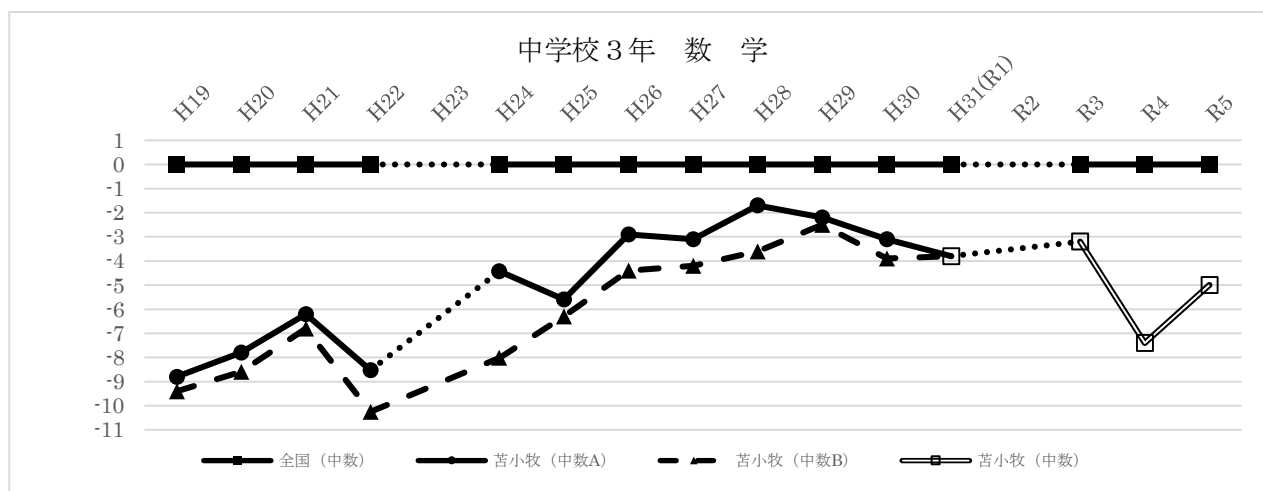
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



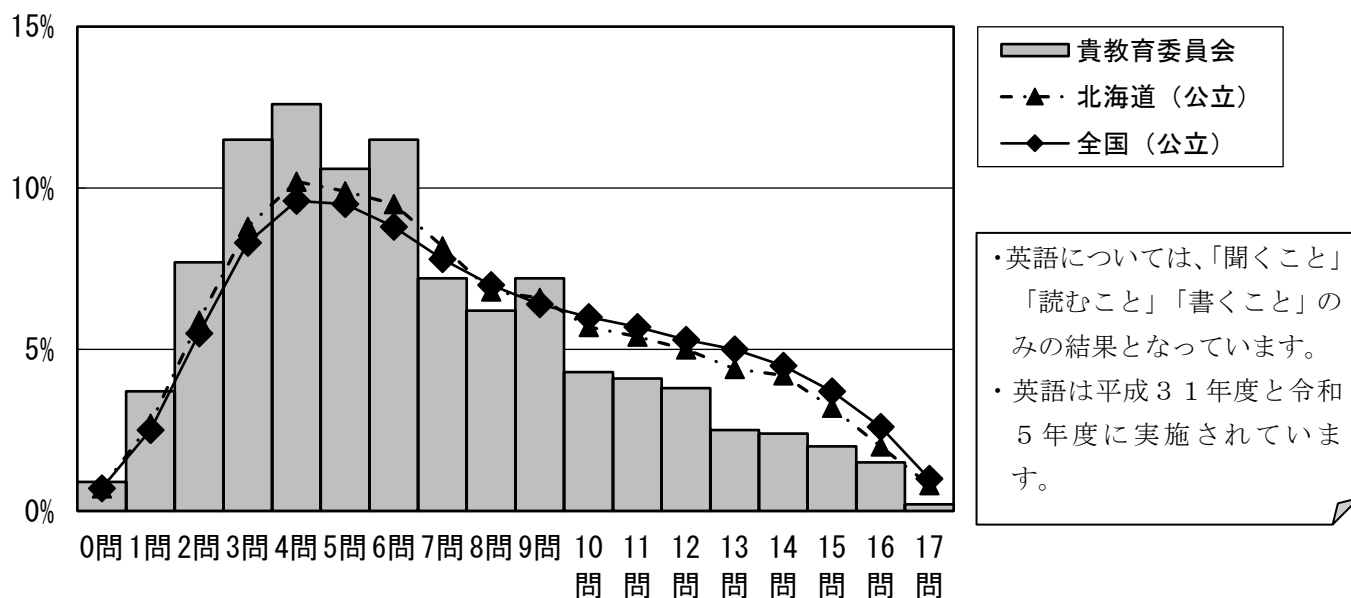
分析と考察

- 自然数を答える問題では、全国平均を上回っており、数と式における知識・技能の定着が見られます。
- 「思考・判断・表現」では、全国平均を下回っており、数学的な事柄が成り立つ理由を説明することや問題解決の課程や結果を振り返って考え、成り立つ事柄を見だし、説明することについて課題が見られます。
- 正答数4問以下の生徒数が全体の約32%います。計算等の基礎・基本の定着及び日常の具体的な場面で知識・技能を活用することに課題が見られます。

調査結果概況 [英語]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



中学校 英語に関する調査結果

	平均正答数（問／出題数）	平均正答率（％）
苫小牧市	6.5／17	38
北海道	7.5／17	44
全国	7.7／17	45.6

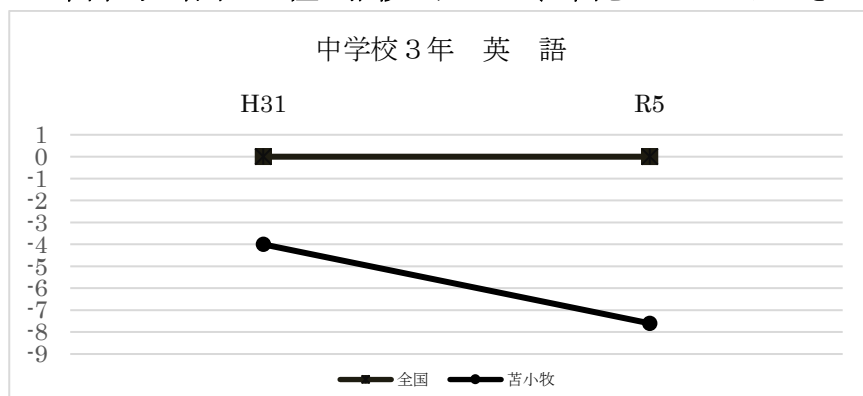
平均正答数

出題数に対する正答数の平均値

平均正答率

問題数を100%とした時の正答数の割合

全国平均正答率との差の推移グラフ（全国を0.0としたときのグラフ）



分析と考察

○英文を聞いて、内容にあった絵を選択する問題では、平均正答率が全国平均と同等の問題があり、情報を正確に聞き取ることができているとかがえます。

●「聞くこと」「読むこと」「書くこと」において、全国平均を下回っており、特に「読むこと」は、全国平均を大きく下回りました。英文で書かれたグラフを含む資料から内容を読み取ることや文と文の関係を読み取ることにより課題が見られます。

●「書くこと」では、日常的な話題について、事実や自分の考えを整理し、25語以上のまとまりのある文章を書くことに課題が見られます。さらに、無解答率が30%の問題もあり、自分の考えを英語で書くことに課題が見られます。

令和5年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学6年児童）調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

小学6年児童

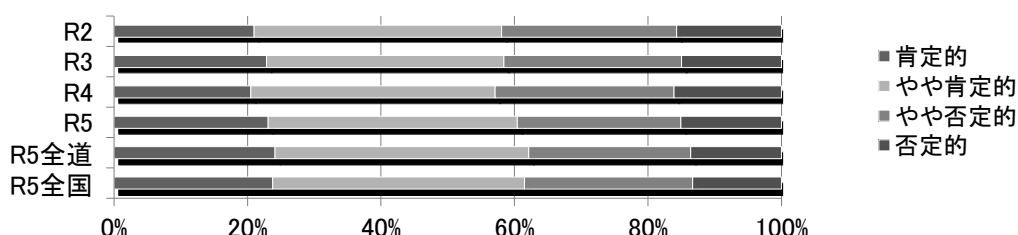
・令和2年度は参考値です。

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
 ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
 ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
 ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

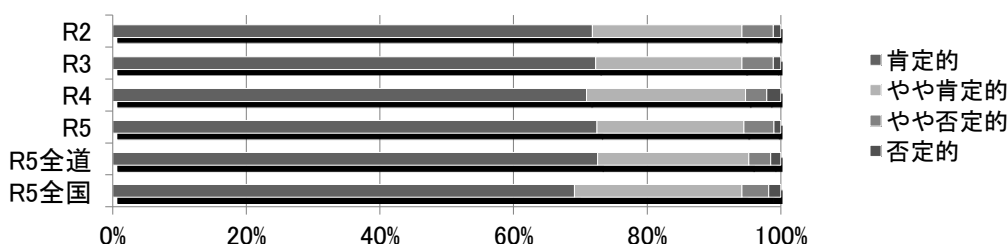
学習に対する興味・関心等 （国語）

【考察】 どの設問においても、全国と同等の結果であるといえる。特に「国語の授業で書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。」では、肯定的に回答した割合が全国平均を大きく上回っている。しかし、学力調査では全国平均を下回る結果となったため、国語科で育成すべき資質・能力を児童に身に付けさせるよう授業改善が必要であるとうかがえる。

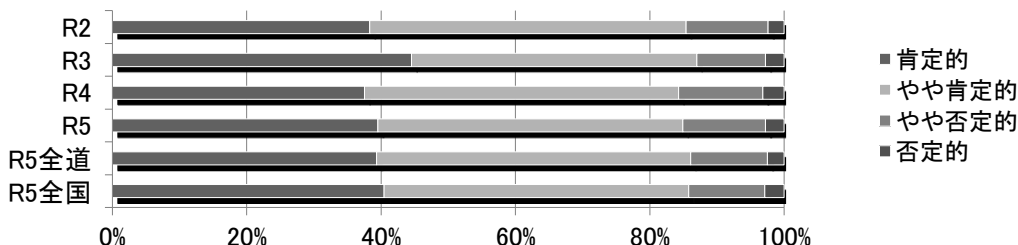
43 国語の勉強は好き。



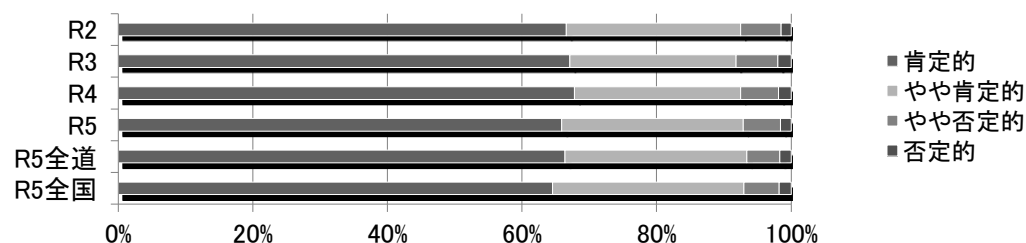
44 国語の勉強は大切だと思う。



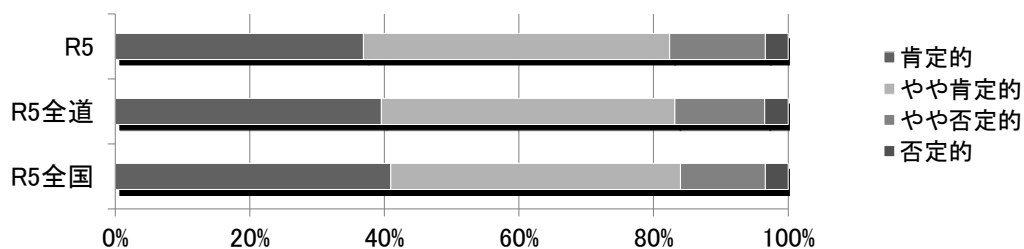
45 国語の授業の内容はよく分かる。



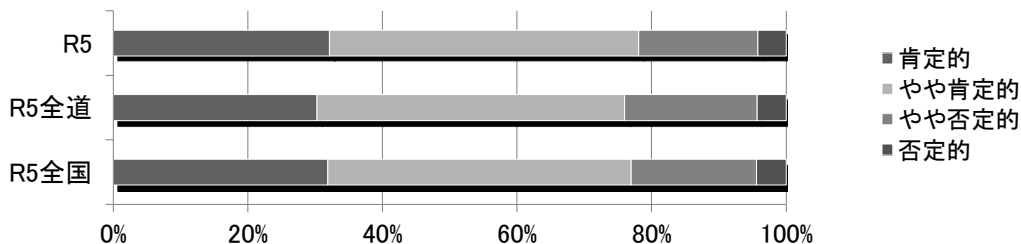
46 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



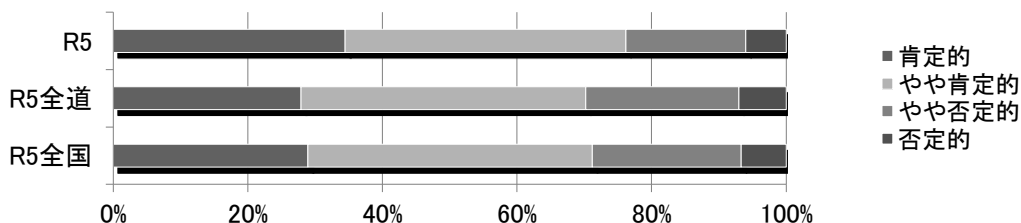
47 国語の授業で言葉には、相手との好ましい関係をつくる働きがあることについて学んでいる。（新設問）



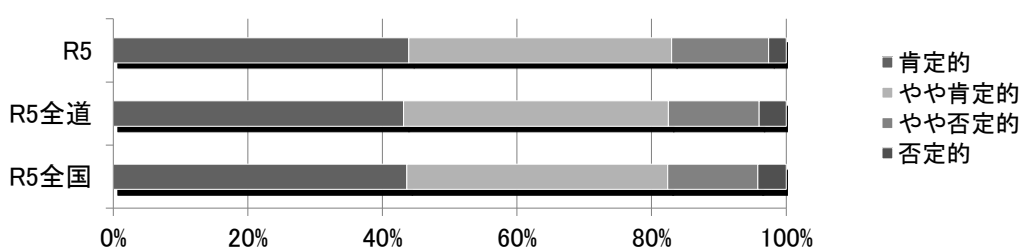
48 国語の授業で立場や考えの違いを意識して話し合い、自分とは違う意見を生かして自分の考えをまとめている。（新設問）



49 国語の授業で書いた文章の感想や意見を学級の友達と伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。（新設問）

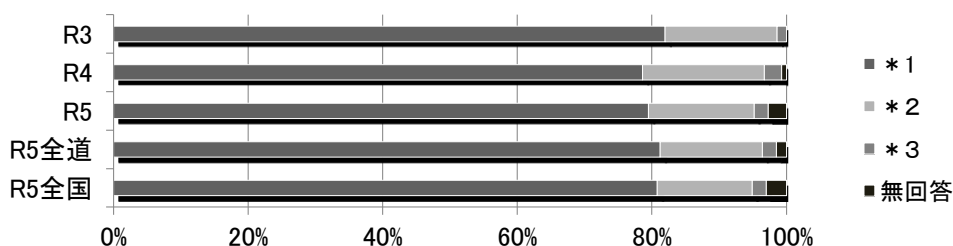


50 国語の授業で物語を読むときに、登場人物の性格や特徴、物語全体を具体的にイメージし、どのような表現で描かれているかに着目している。（新設問）



国(1) 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

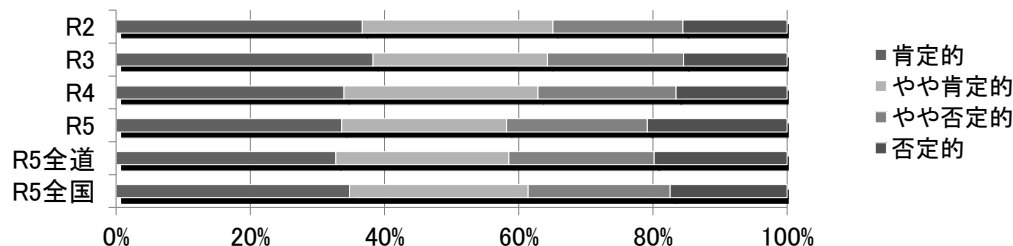
- * 1：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
- * 3：書く問題は全く解答しなかった。



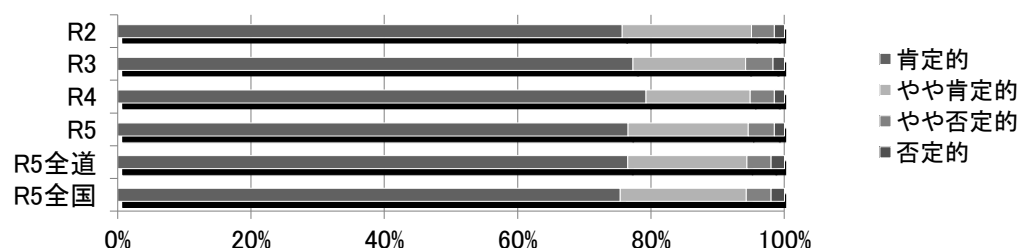
学習に対する興味・関心等 (算数)

【考察】「算数の勉強が好き。」では、肯定的に回答した割合が全国平均を下回っている。また、「算数の授業の内容はよく分かる。」では、令和3年度から肯定的に回答をした割合が減ってきている。これらのことから問題発見・解決する過程を重視した授業改善を行い、児童に考え、解決することの楽しさや充実感を体験させ、育成すべき資質・能力を確実に育成することが必要であるとうかがえる。

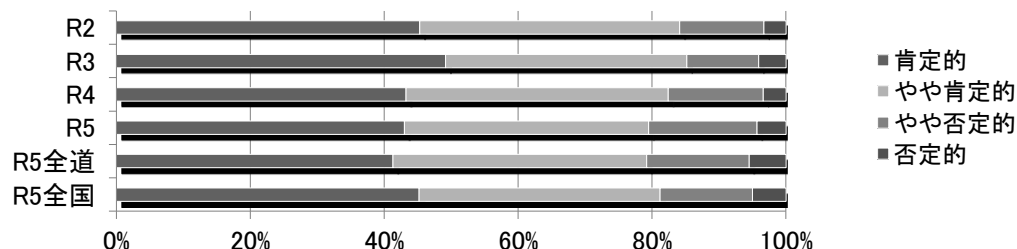
51 算数の勉強が好き。



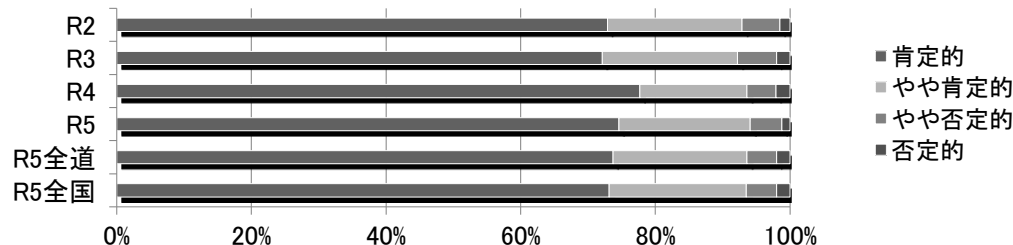
52 算数の勉強は大切だと思う。



53 算数の授業の内容はよく分かる。

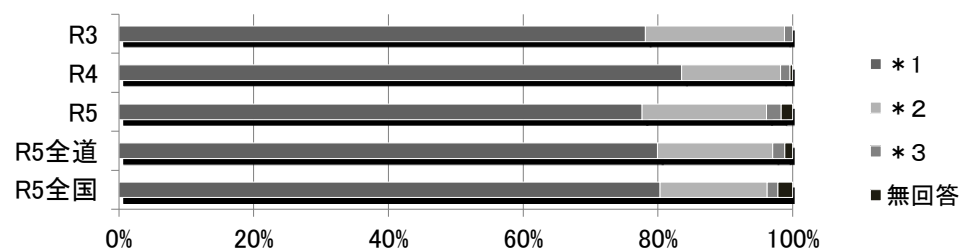


54 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



算(1) 今回の算数の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。

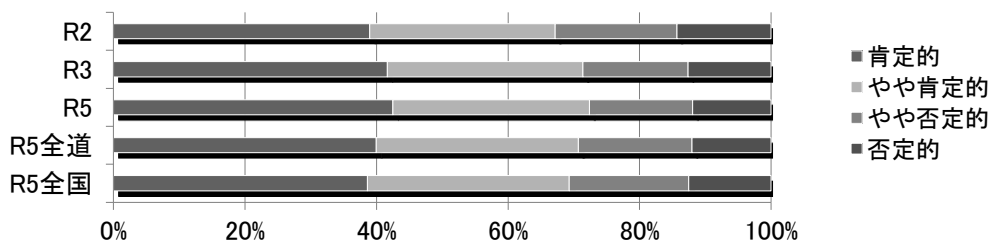
- * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
- * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった。
- * 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



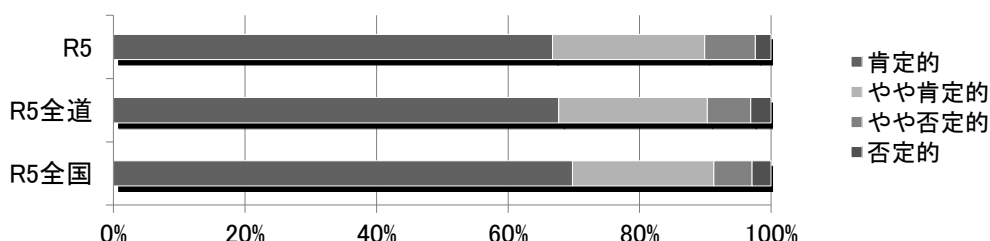
学習に対する興味・関心等 (英語)

【考察】「これまで、学校の授業以外で英語を使う機会があった。」では、肯定的に回答した割合が、全国平均を大きく下回っている。児童が日常生活の中で、英語に触れあう場面や英語を活用する場面が少ないことから、外国語活動や外国語科の授業をより充実させ、英語を身近に感じられるような工夫が必要であるとうかがえる。

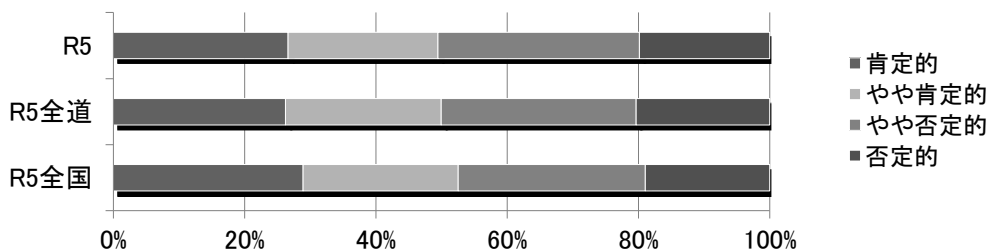
55 英語の勉強は好き。



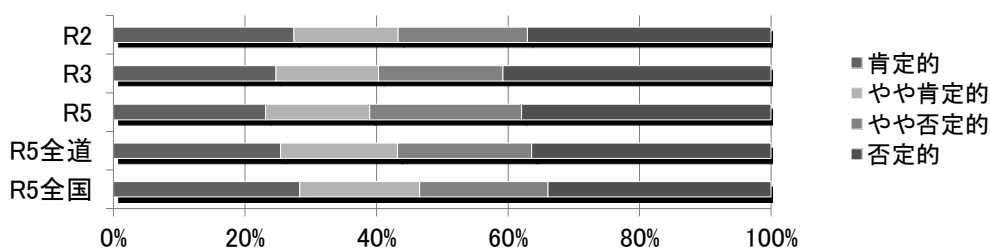
56 英語の勉強は大切だと思う。(新設問)



57 将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業についたりしたい。(新設問)

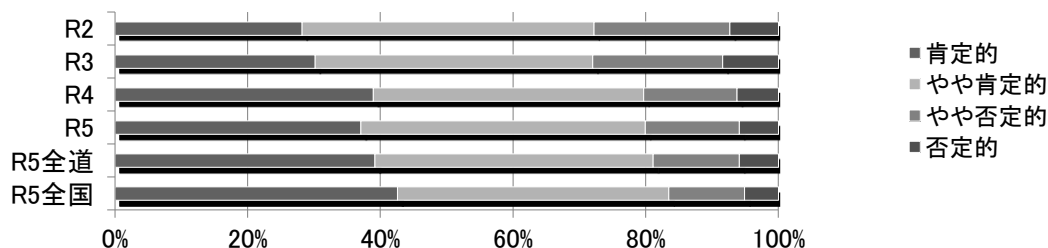


58 これまで、学校の授業以外で英語を使う機会があった。(地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語のテレビやホームページを見る、I C T機器を利用して他者と英語で交流する、英会話教室に通うなど)

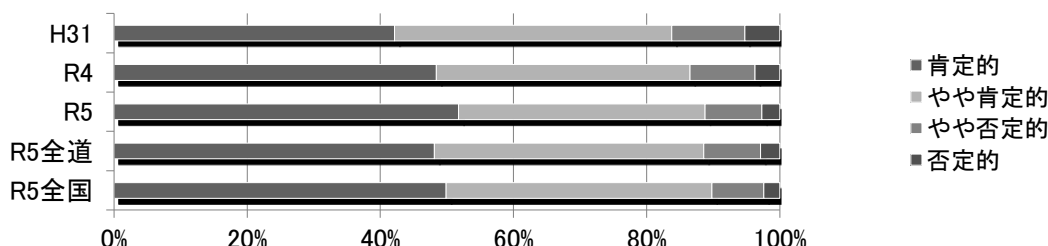


【考察】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」では、肯定的に回答した割合が全国平均を上回っている。各学校におけるいじめ等の問題に対する取組の成果が見られるが、肯定的な回答が100%になるよう取組を継続する必要がある。また、「自分には、よいところがある。」では、否定的に回答した児童が20%程度いることから、多様な教育活動を通して、教師が一人一人のよさを伝えたり、児童同士でよさを伝え合ったり、自分のよさに気づく取組が必要であるとうかがえる。

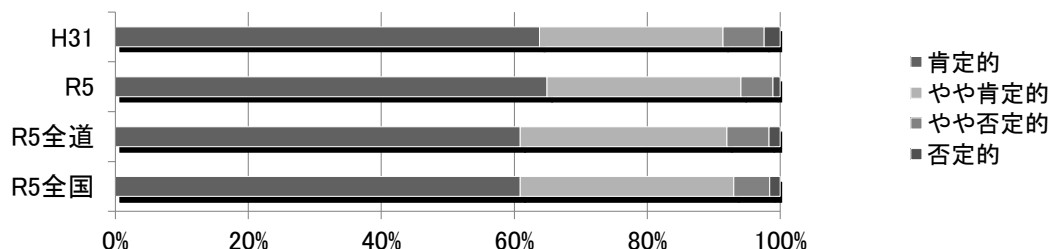
4 自分には、よいところがあると思う。



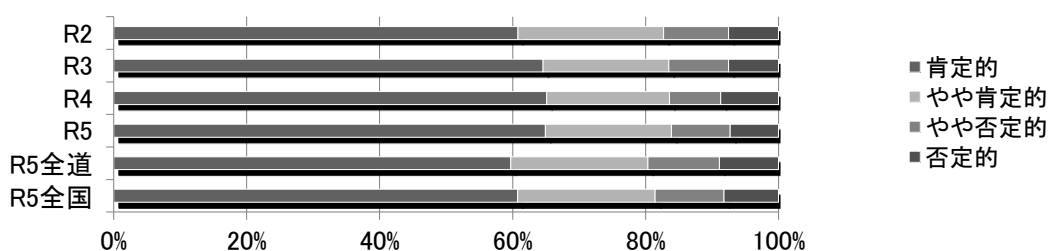
5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



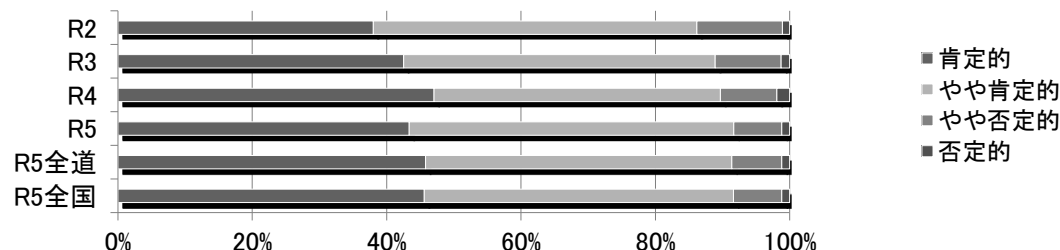
6 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。



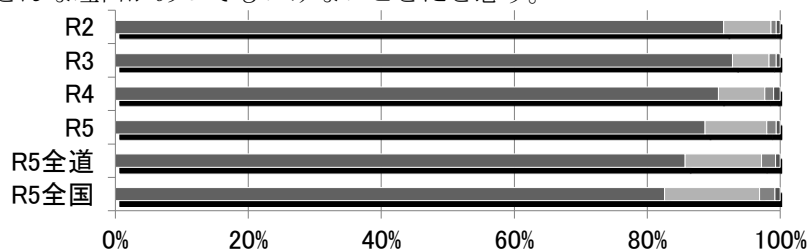
7 将来の夢や目標を持っている。



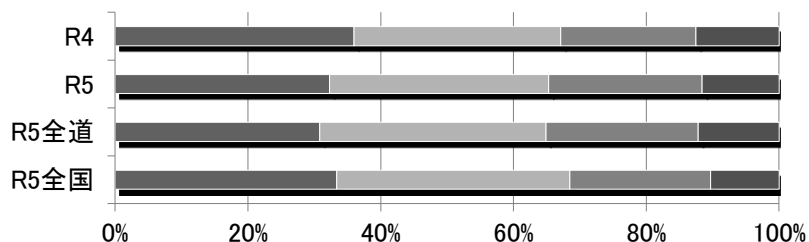
8 人が困っているときは、進んで助けている。



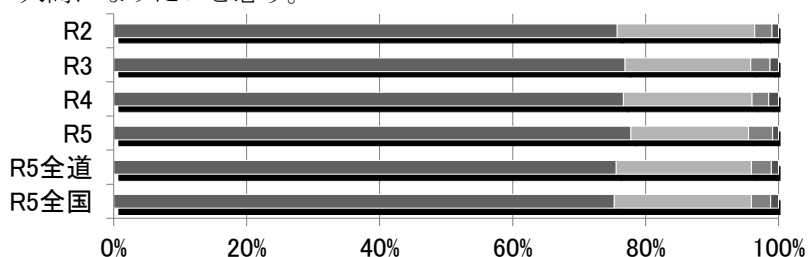
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



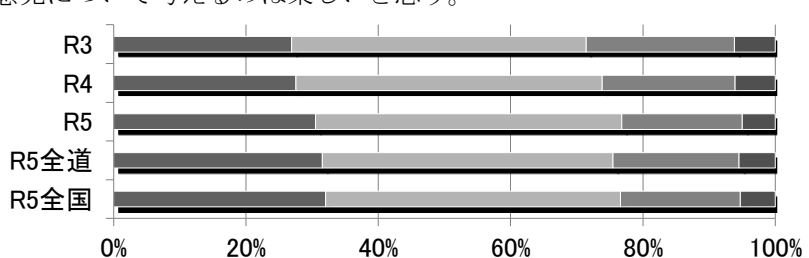
10 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。



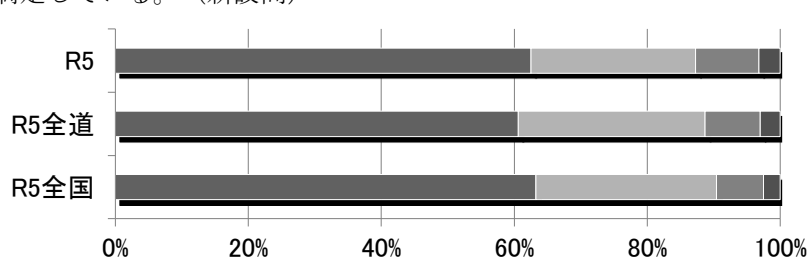
11 人の役に立つ人間になりたいと思う。



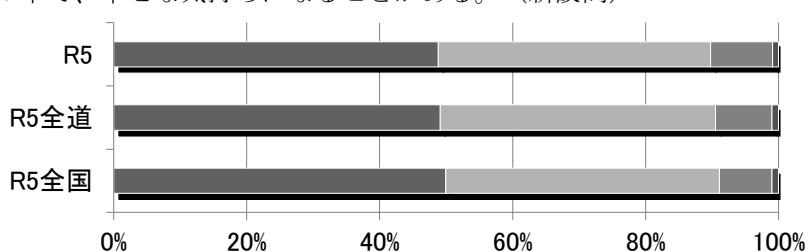
13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。



14 友達関係に満足している。（新設問）



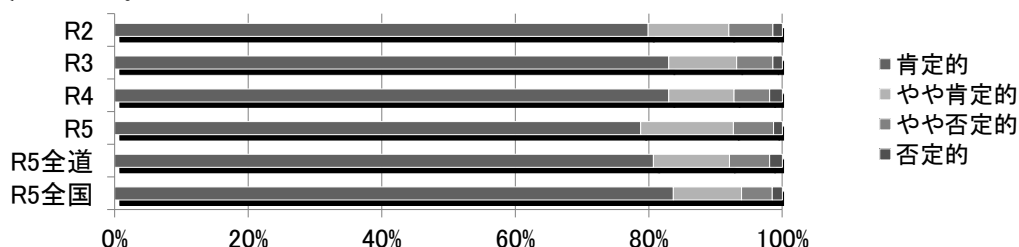
15 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。（新設問）



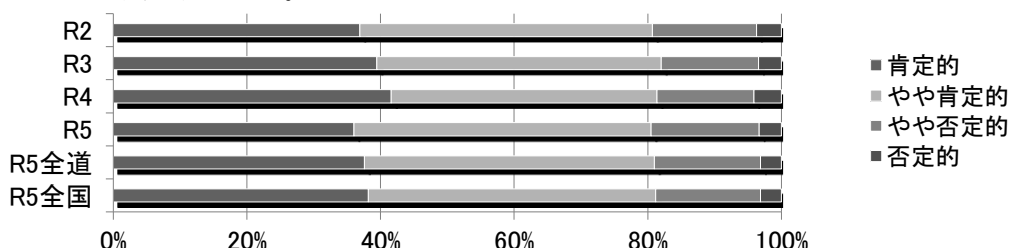
生活習慣・学習習慣

【考察】「家で自分で計画を立てて勉強をしている。」では、肯定的に回答した割合が、全国平均を大きく上回っている。また、「一日の学習時間。」では、平日及び休みの日において、「1時間以上学習している」と回答した割合が、全国平均を大きく上回っている。このことから、各学校の家庭学習の取組により学習習慣は概ね身に付いているので、今後はより質の高い学習するために、学習を振り返って次につなげることができるよう学習を自己調整する力を身に付けさせる必要があるとかがえる。

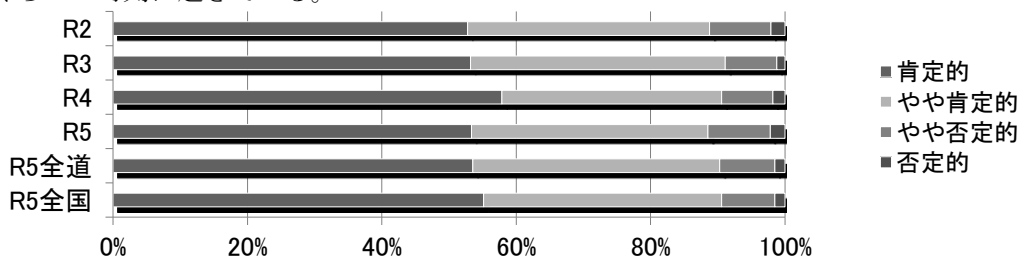
1 朝食を毎日食べている。



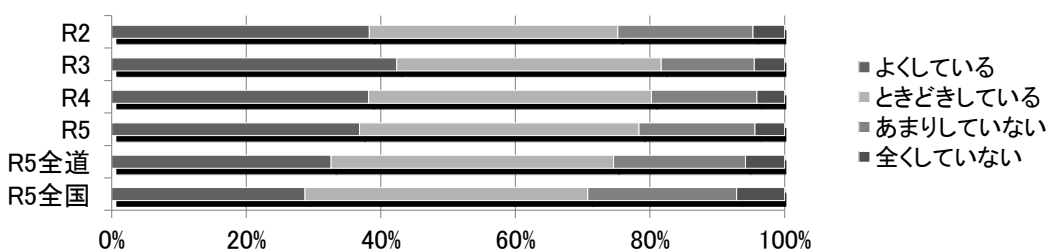
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



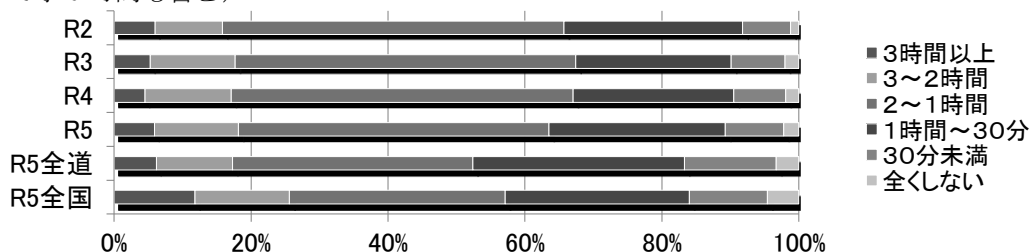
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



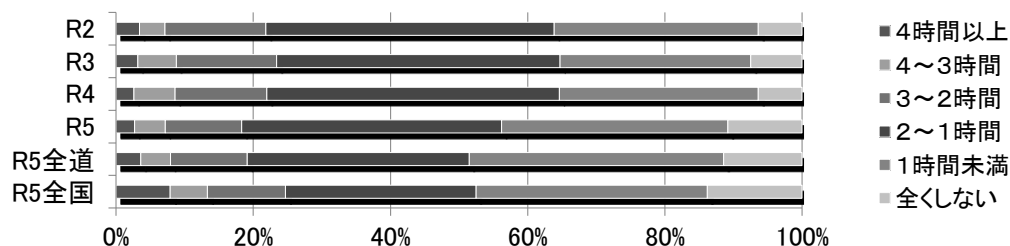
16 家で自分で計画を立てて勉強をしている。（学校の授業の予習や復習を含む）



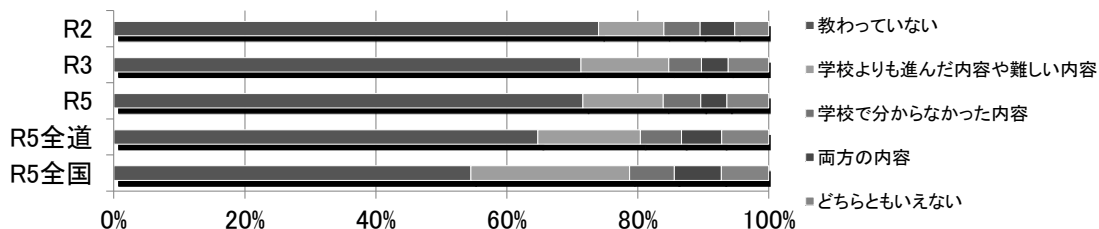
17 普段(月～金)、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



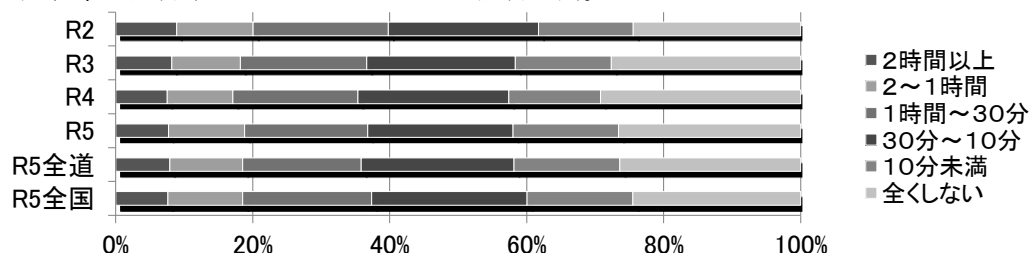
18 休み(土日等)の日の、1日当たりの学習時間。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



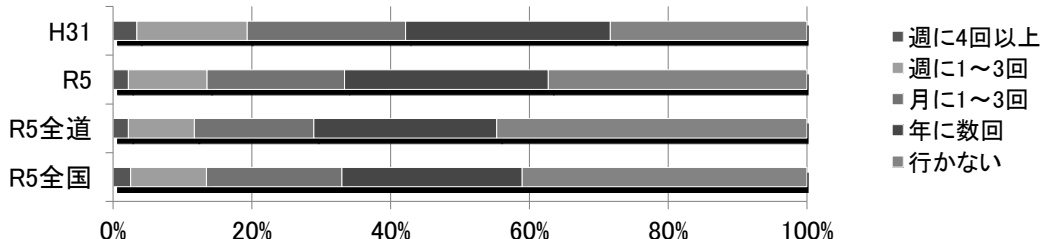
19 学習塾や家庭教師の先生に教わっている。(インターネットを通じて教わっている場合も含む)



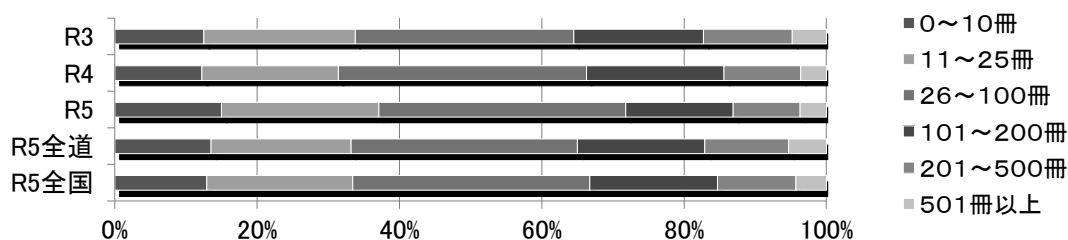
20 普段(月～金)、家や図書館における1日あたりの読書時間。



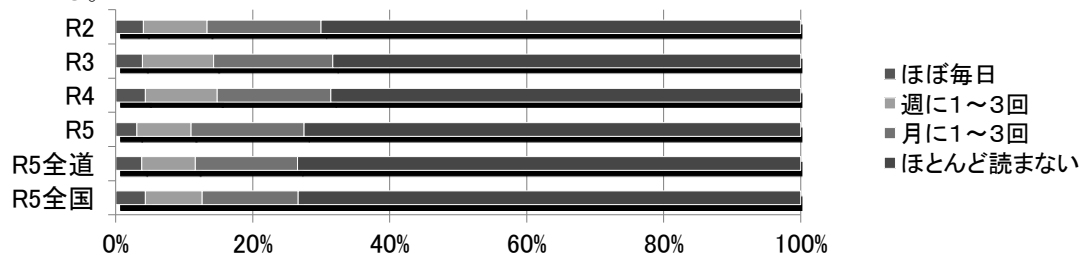
21 本を借りたり読んだりするために学校図書館や地域の図書館を利用する割合。



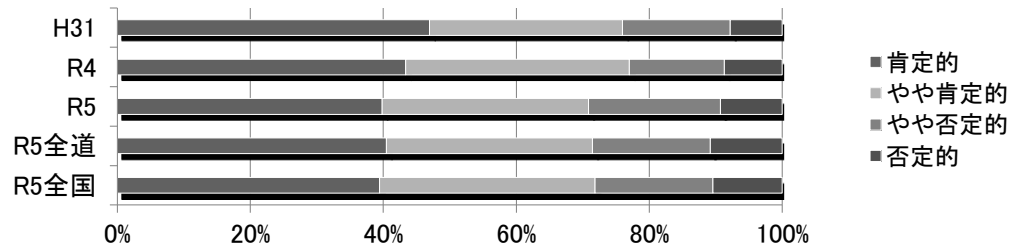
22 家にある本の冊数。(雑誌、新聞、教科書は除く)



23 新聞を読んでいる。



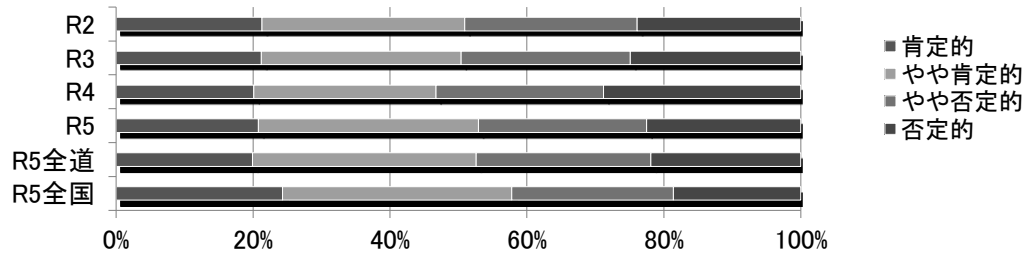
24 読書は好きですか。



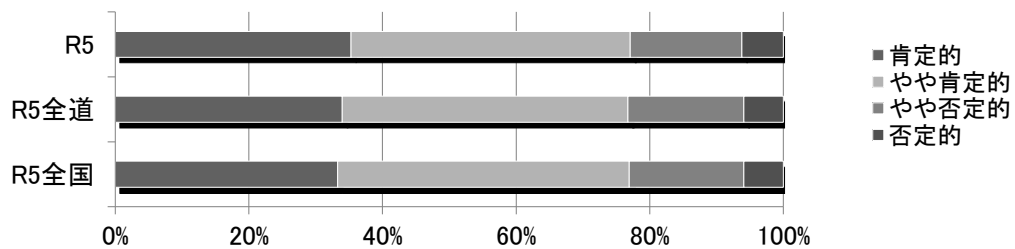
地域や社会への関心

【考察】「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した割合が全国平均を下回っている。児童が地域や社会に関心をもち、参画していくために、学校と家庭、地域が一体となってそれぞれの役割を主体的に取り組み、連携・協働により地域社会全体で児童を育む体制づくりが必要であるとうかがえる。

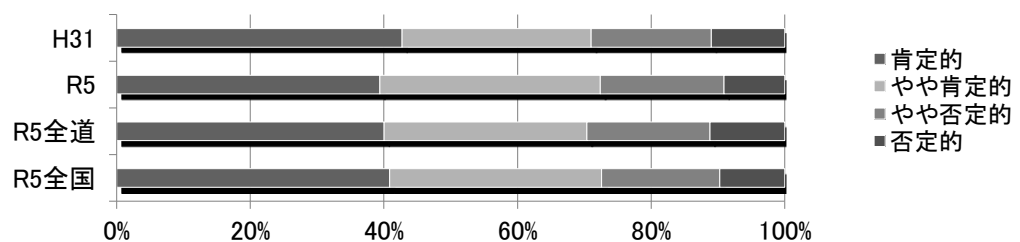
25 今住んでいる地域の行事に参加している。



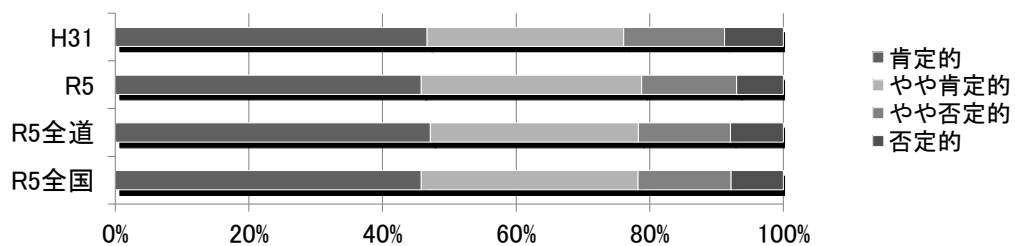
26 地域や社会をよくするために何かしてみたい。（新設問）



27 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知りたい。



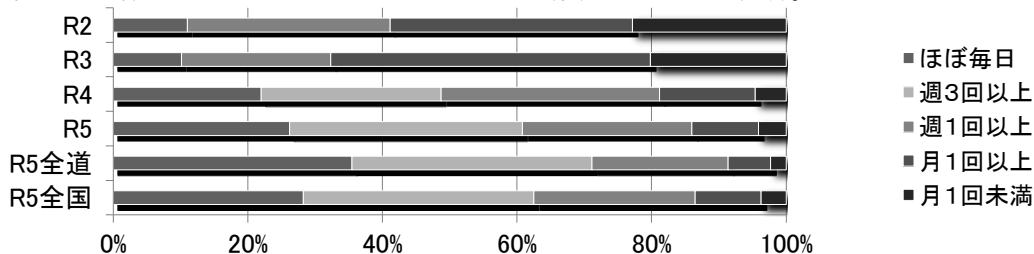
28 日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい。



I C Tの活用

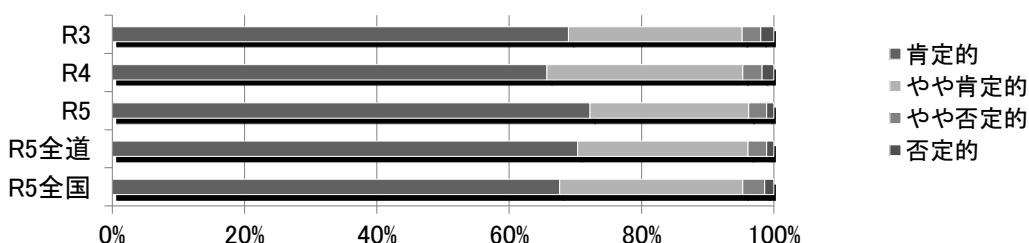
【考察】 「5年生までに受けた授業でP C・タブレットなどのI C T機器を使用した割合。」は、年々高くなっているが、「ほぼ毎日」と回答した割合が全国平均を下回っている。また、全道と比べると、大きく差が開いている。9 5 %の児童が、I C Tの活用が勉強の役に立つと回答していることから、早急に通信環境を改善し、I C T機器を個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために活用できる環境を整える必要があるとかがえる。

29 5年生までに受けた授業でP C・タブレットなどのI C T機器を使用した割合。

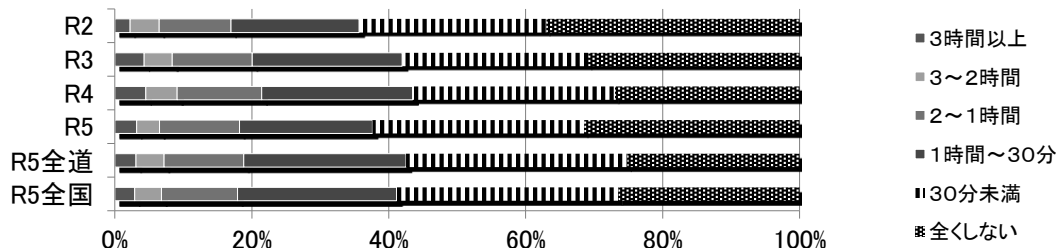


※R 2～R 3については、ほぼ毎日、週 1 回以上、月 1 回以上、月 1 回未満の 4 項目

30 学習の中でP C・タブレットなどのI C T機器を使うのは勉強の役に立つ。



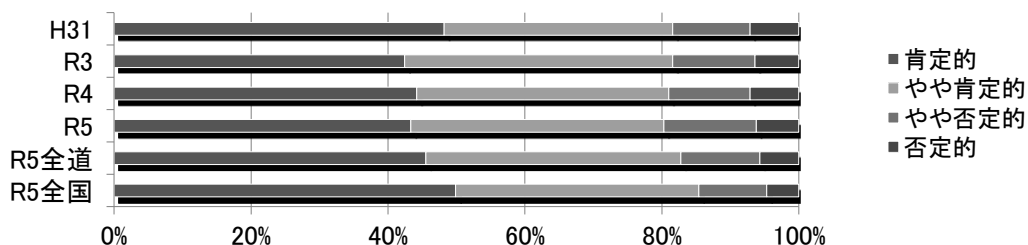
31 普段（月～金）、1日にスマホやコンピュータ等のI C T機器を勉強のために使用する時間。



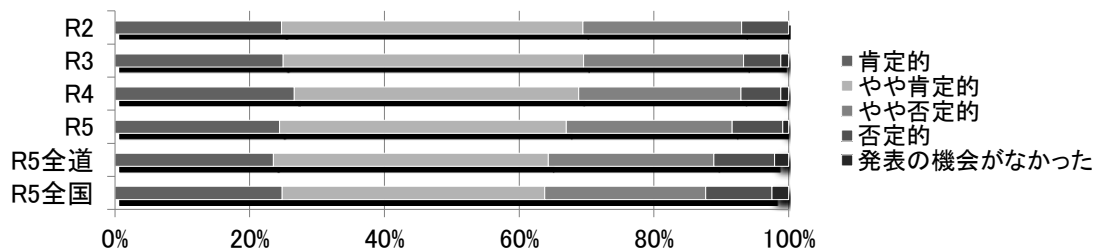
学校生活

【考察】 設問32～38では、授業における内容について肯定的に回答した割合は、全国平均とほぼ同等である。このことから、今後は、発表の内容、課題解決に向けた学習内容、振り返りの内容等、それぞれの活動の質を高めていく必要があるとかがえる。
「総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。」では、肯定的に回答した割合が全国平均を大きく上回っており、探究的な活動が計画的に行われていることがうかがえる。

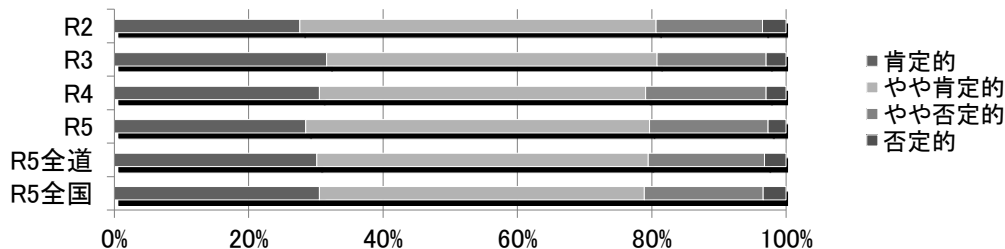
12 学校に行くのは楽しい。



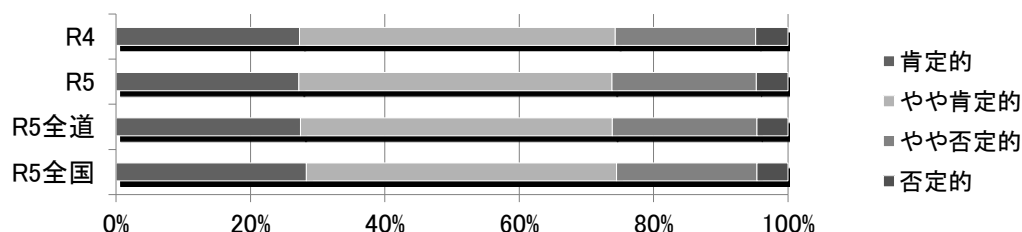
32 5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。



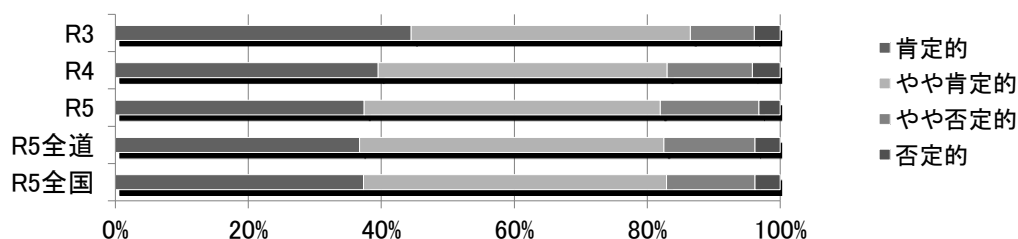
33 5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



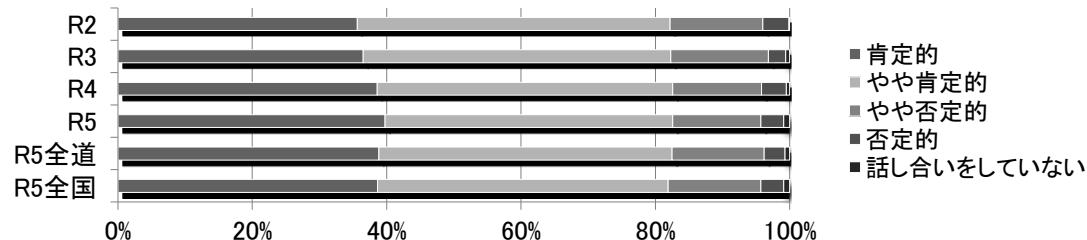
34 5年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。



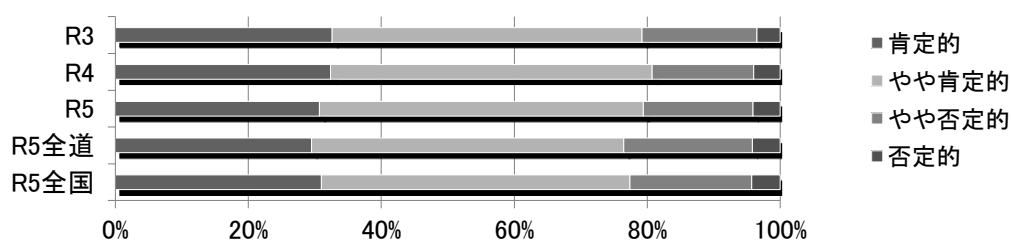
35 5年生までに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた。



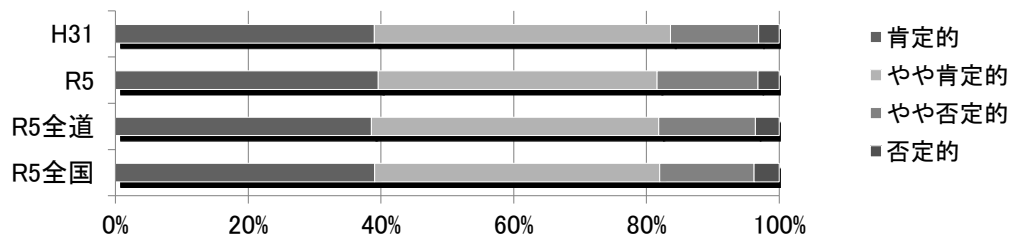
36 学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



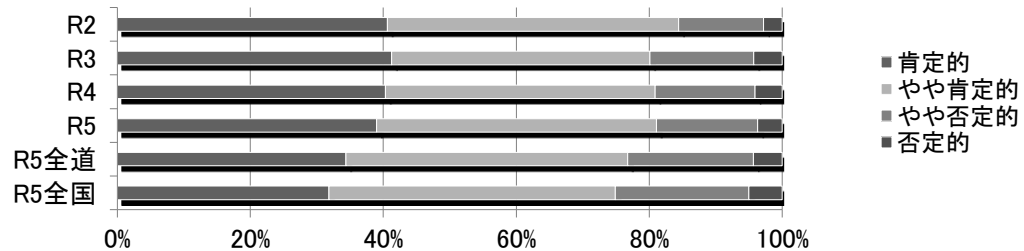
37 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。



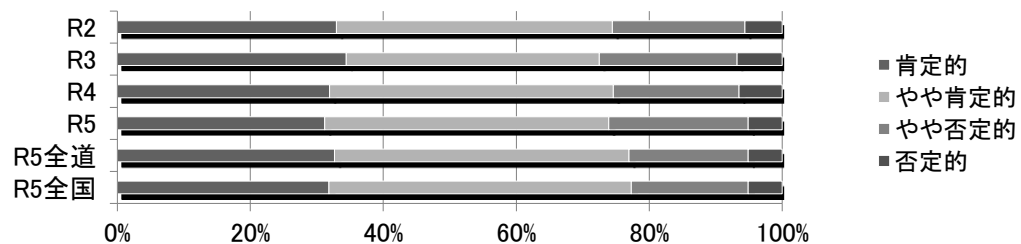
38 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。



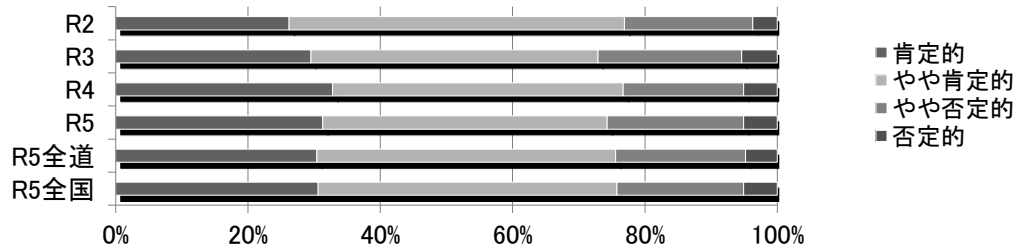
39 総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



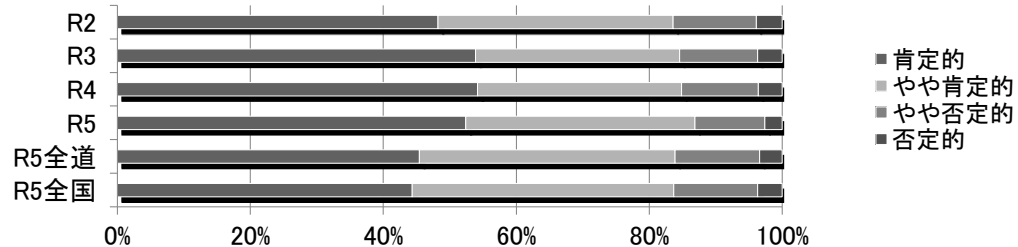
40 学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。



41 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。

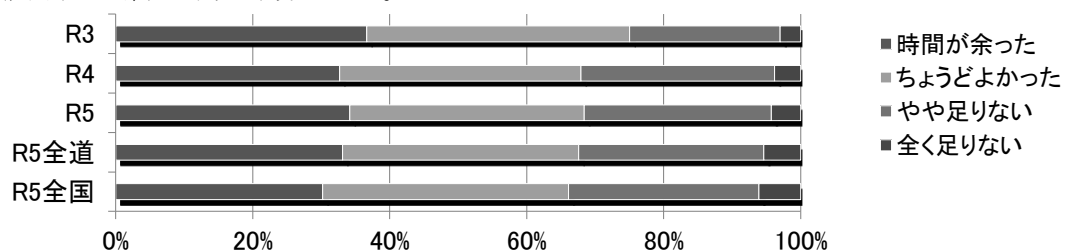


42 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。

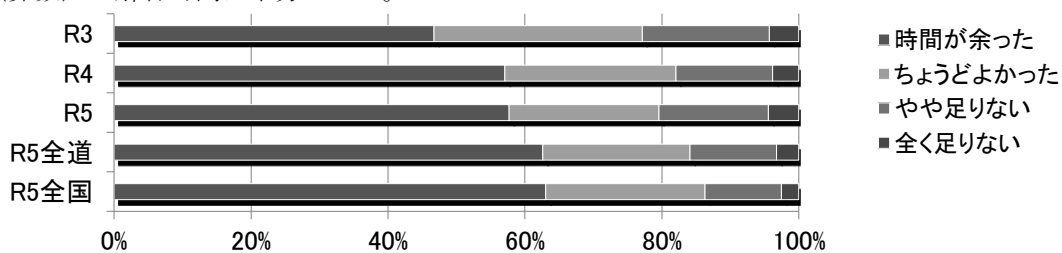


調査問題の解答時間

国(2) 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



算(2) 調査問題（算数）の解答時間は十分だった。



令和 5 年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学 3 年生徒）調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

中学 3 年生徒

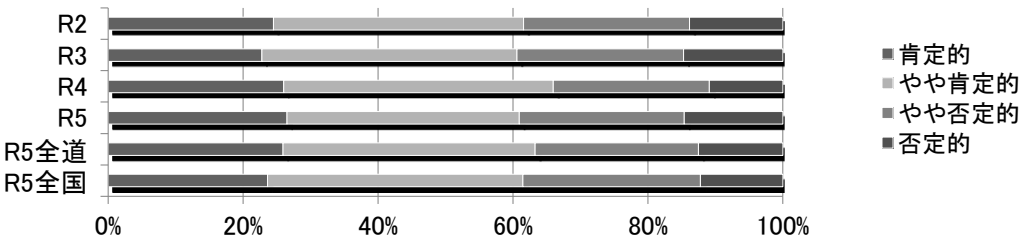
・令和 2 年度は参考値です。

- ①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
- ②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
- ③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
- ④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

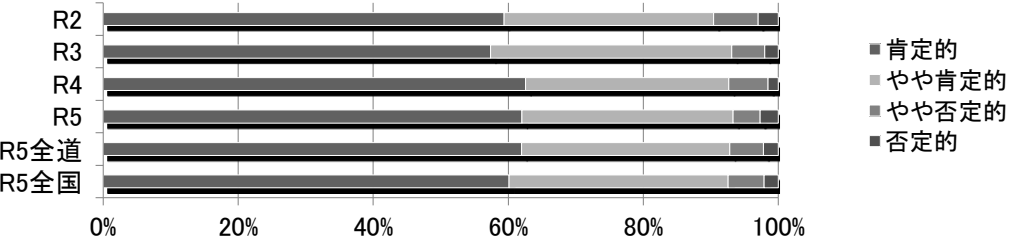
学習に対する興味・関心等
（国語）

【考察】 どの設問においても、肯定的に回答した割合が全国平均と同等または上回っている。特に、「自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している。」では、肯定的に回答した割合が全国平均を上回っており、「国語」の「話すこと・聞くこと」の結果が全国と同等だったことから、授業中の取組が学力調査の結果につながっているうかがえる。

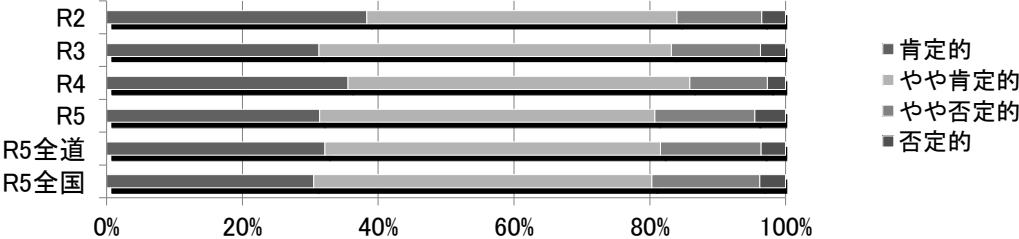
47 国語の勉強は好き。



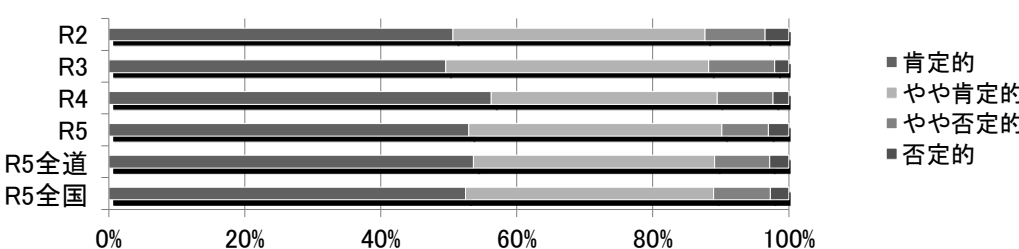
48 国語の勉強は大切だと思う。



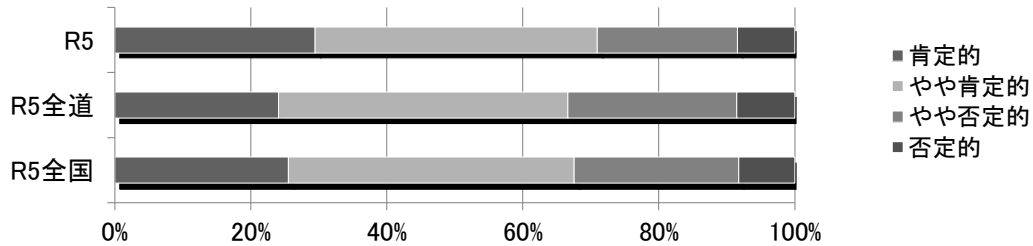
49 国語の授業の内容はよく分かる。



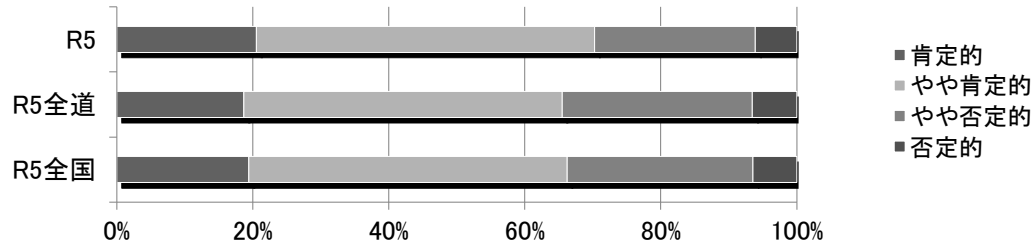
50 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



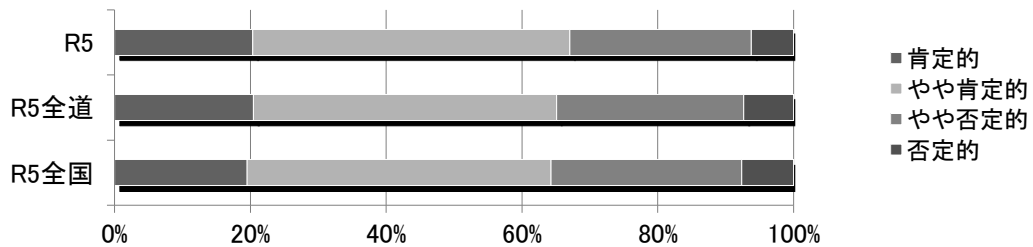
51 行書の基礎的な書き方（「点画の連続」や「点画の省略」、「筆順の変化」など）を理解して書いている。（新設問）



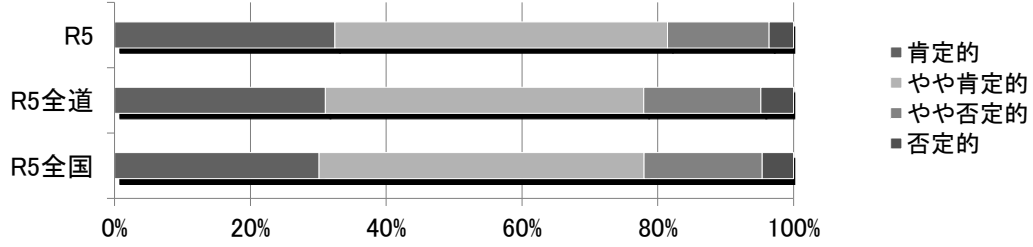
52 国語の授業で、自分の考えを分かりやすく伝えるために、聞き手の立場に立って効果的な話し方を工夫している。（新設問）



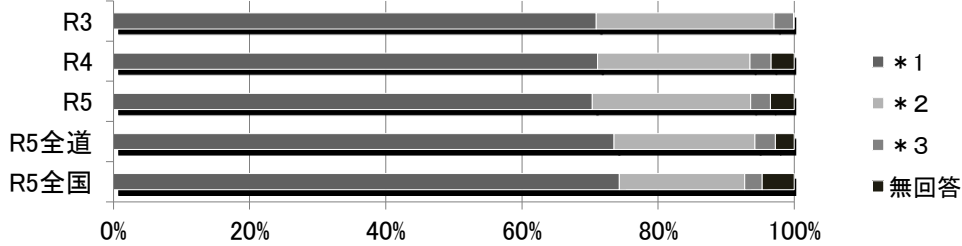
53 国語の授業で、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にするために必要な情報を資料から引用して書いている。（新設問）



54 国語の授業で、文学的な文章を読み、場面の展開や登場人物の心情の変化などについて、描写を基にとらえている。（新設問）



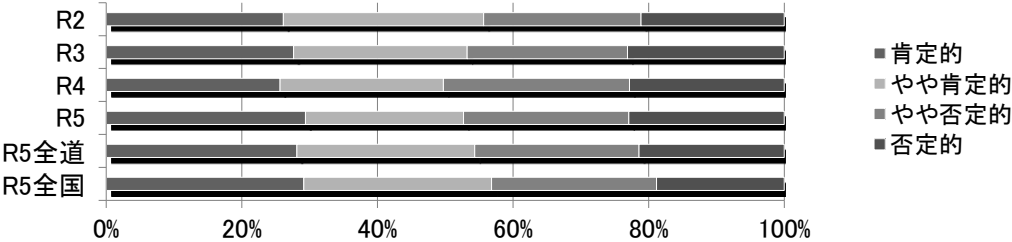
国(1) 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように解答したか。
* 1：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
* 2：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあつた。
* 3：書く問題は全く解答しなかった。



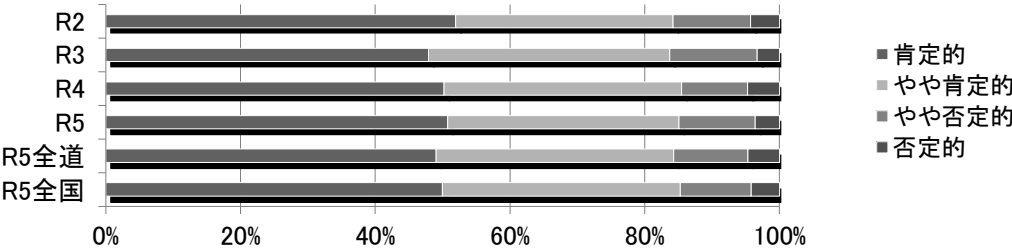
学習に対する興味・関心等
(数学)

【考察】「数学の内容はよく分かる。」では、肯定的に回答した割合がR4年度を上回っている。R5年度は学力調査の結果でもR4年度を上回っていることから、授業中の理解が知識・技能及び思考力・判断力・表現力の育成につながっているとうかがえる。一方で、約30%の生徒が否定的に回答していることから、一人一人に応じた学び方ができるような個別最適な学びとわからないところがあっても協力して解決できるような協働的な学びを進める必要があるとうかがえる。

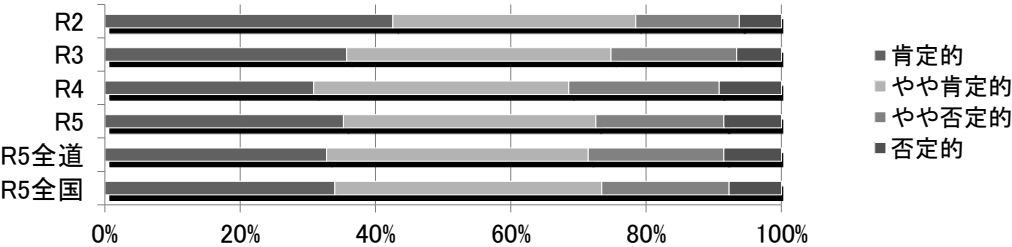
55 数学の勉強は好き。



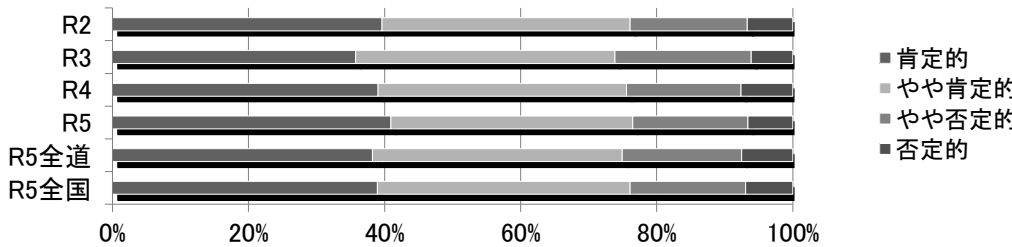
56 数学の勉強は大切だと思う。



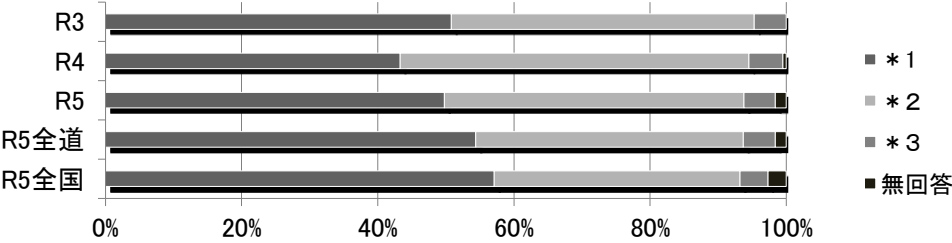
57 数学の授業の内容はよく分かる。



58 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



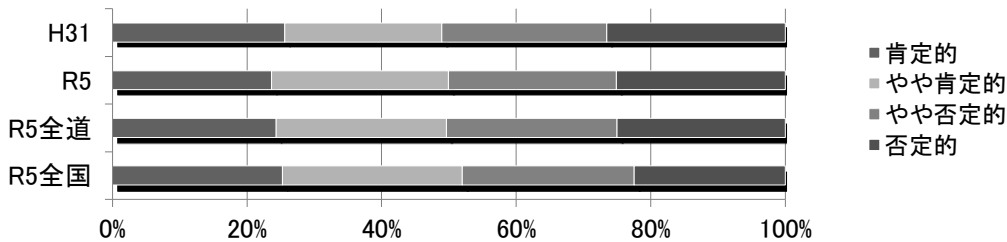
数(1) 今回の数学の問題について、言葉や数、式を使って説明する問題でどのように解答したか。
 * 1 : 全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
 * 2 : 書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中であきらめたりしたものがあった。
 * 3 : 書く問題は全く解答しなかった。



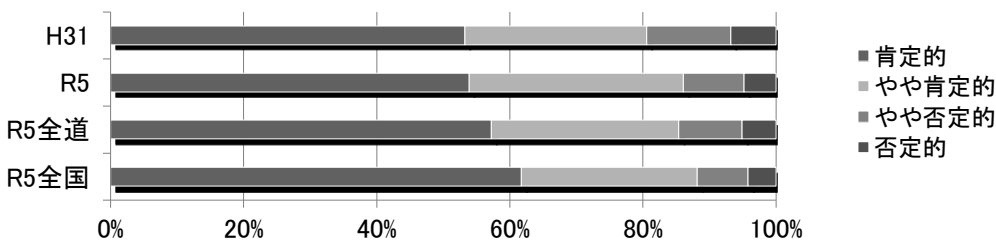
学習に対する興味・関心等
(英語)

【考察】 設問66～72の授業における英語の活動について肯定的に回答した割合は、全国平均を上回っている。しかし、「英語の授業の内容はよくわかる。」では、肯定的に回答した割合は全国平均を下回っている。これらのことから、英語の授業では、多様な活動が行われているが、知識・技能の定着や思考力・判断力・表現力等の育成につながっていないと考えられるため、単元を見通して、必要な資質・能力を身に付けさせるためにどのような活動が必要なのかを吟味し、指導する必要があるとかがえる。

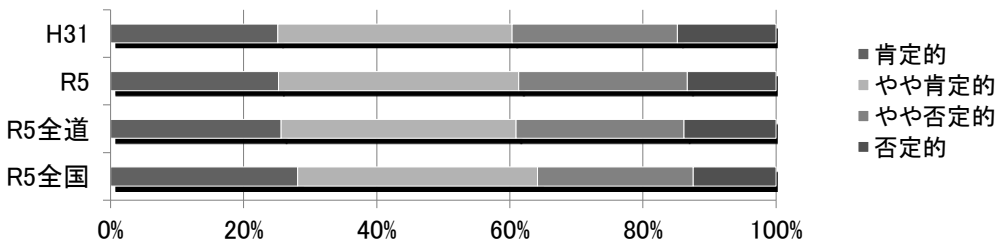
59 英語の勉強は好き。



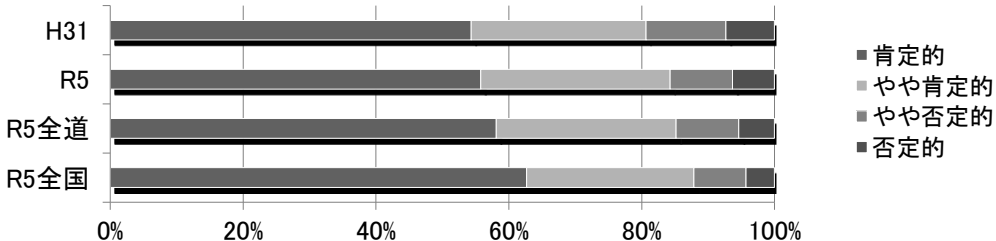
60 英語の勉強は大切だと思う。



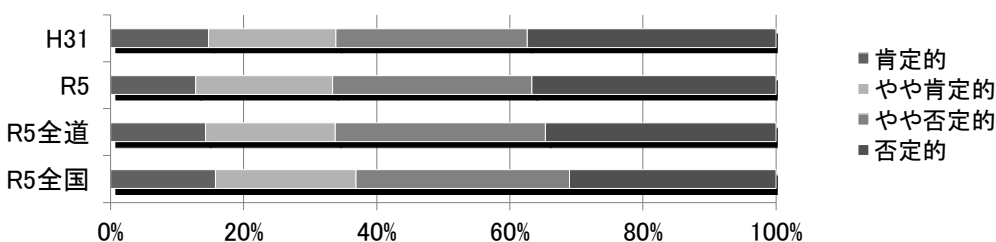
61 英語の授業の内容はよく分かる。



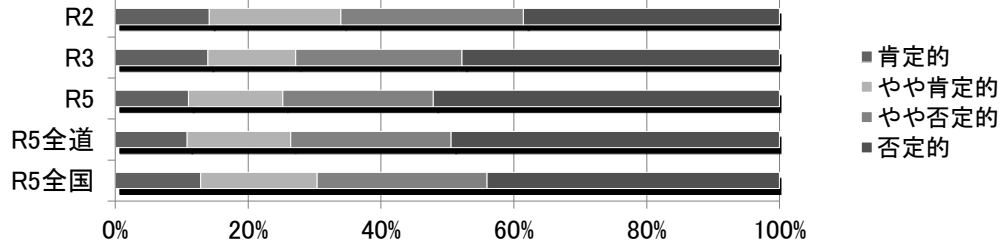
62 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



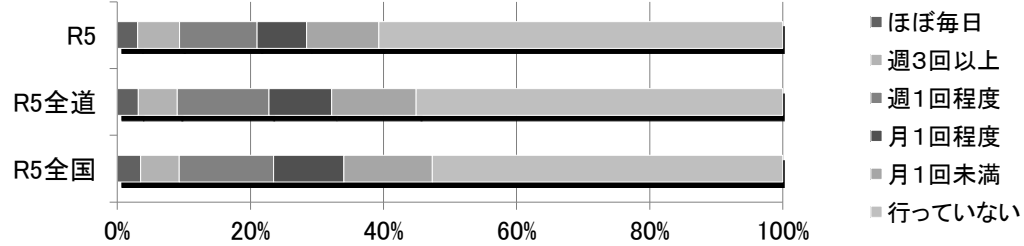
63 将来、積極的に英語を使う生活をしたたり職業に就いたりしたい。



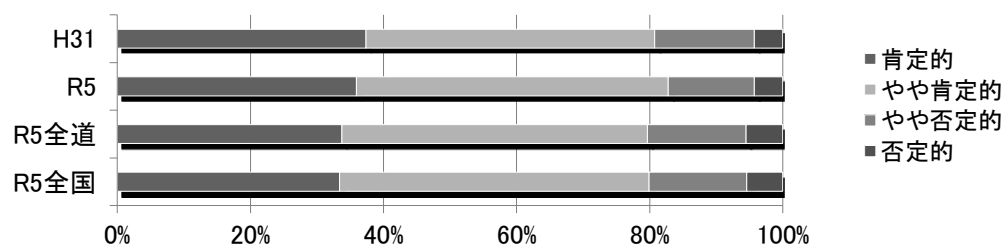
64 これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会が十分にあった。（地域の人や外国にいる人と英語で話す、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）



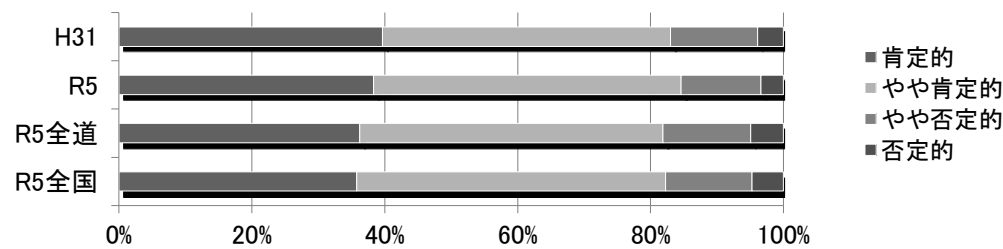
65 家庭学習の課題（宿題）として、I C T機器を使用して、英語の音声を開いたり、英語を話す練習をしている。（新設問）



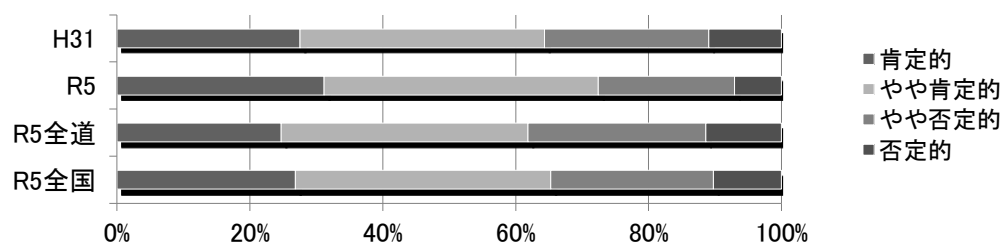
66 1，2年生のときの授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていた。



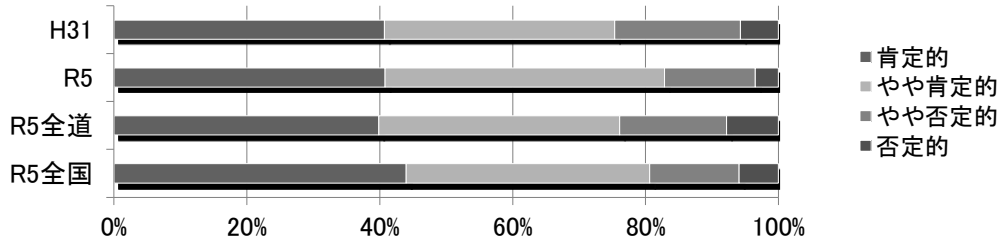
67 1，2年生のときの授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていた。



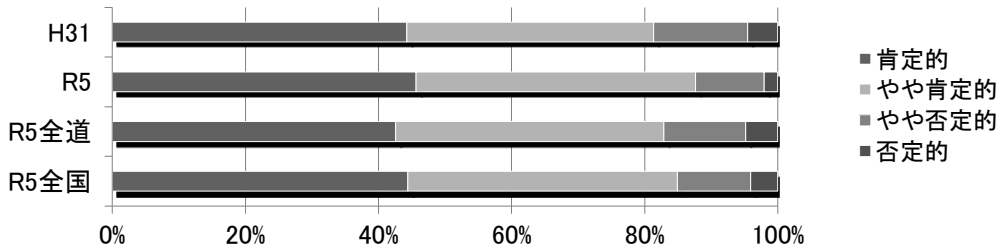
68 1，2年生のときの授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝えあう活動が行われていた。



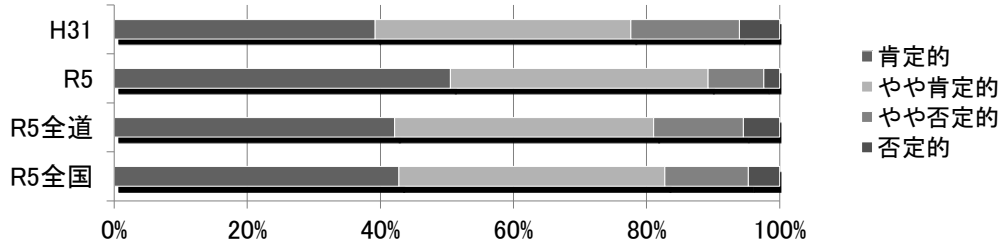
69 1，2年生のときの授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた。



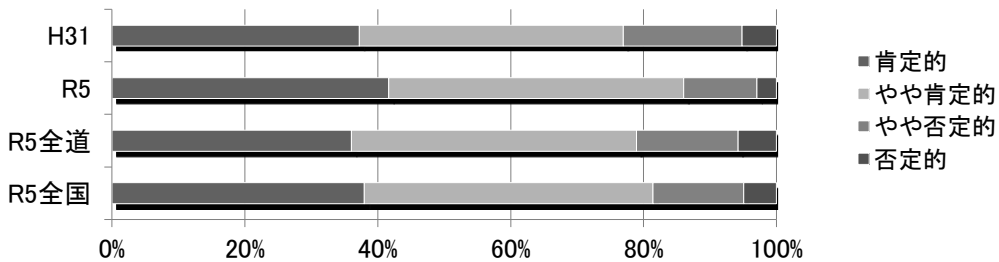
70 1，2年生のときの授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた。



71 1，2年生のときの授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答をしたり意見を述べたりする活動が行われていた。

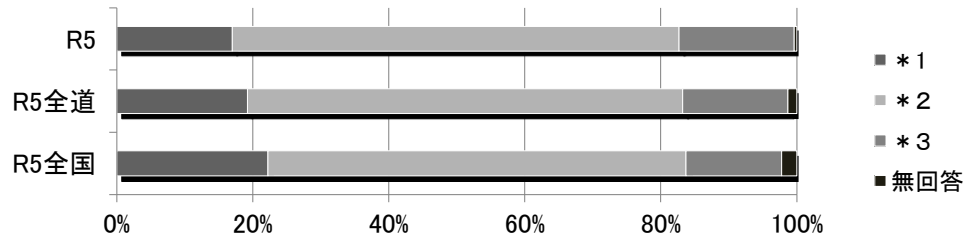


72 1，2年生のときの授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた。



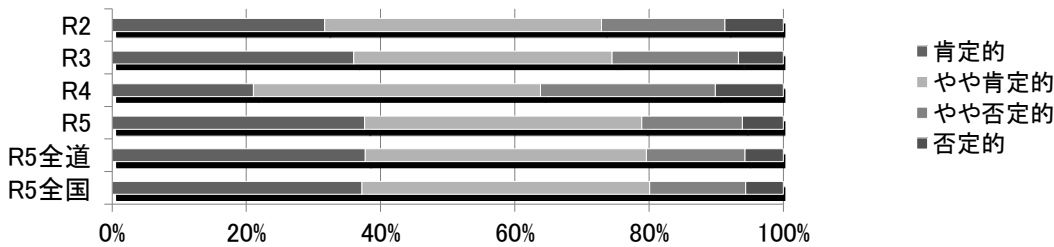
英(1) 今回の英語の問題について、まとまりのある文章を書く問題でどのように解答したか。（新設問）

- * 1：書く内容もその内容を表現する英語も思い浮かんだ。
- * 2：書く内容は思い浮かんだが、その内容を表現する英語が思い浮かばなかった。
- * 3：書く内容が思い浮かばなかった。

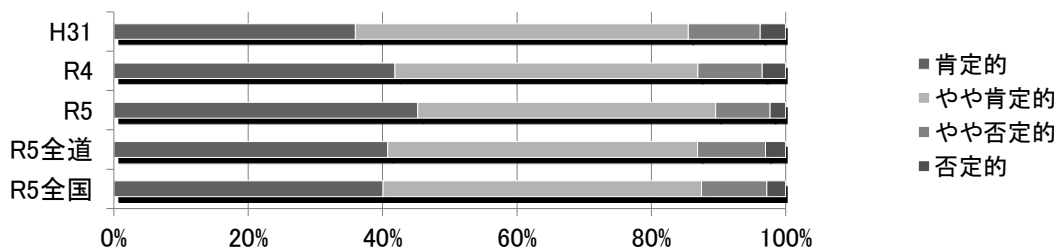


【考察】「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。」と回答した割合が全国平均を上回っている。各学校におけるいじめ等の問題に対する取組の成果がみられるが、肯定的に回答した割合が100%になるよう取組を継続する必要がある。また、「自分には、よいところがある。」では、否定的に回答した生徒が20%程度いることから、多様な教育活動を通して、教師が一人一人のよさを伝えたり、生徒同士でよさを伝え合ったり、自分のよさに気づく取組が必要であるとうかがえる。

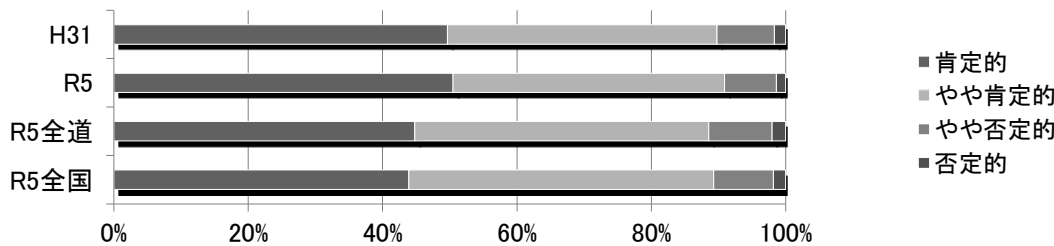
4 自分には、よいところがあると思う。



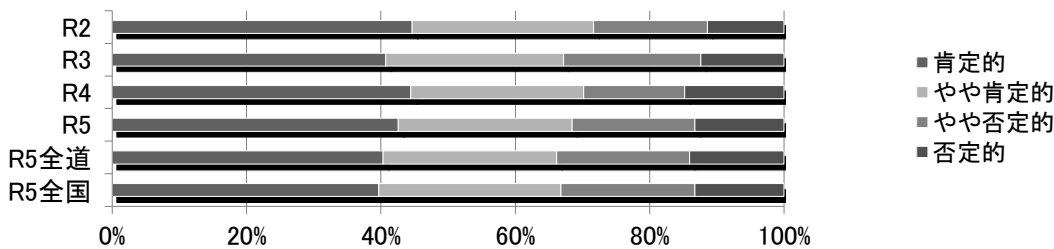
5 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



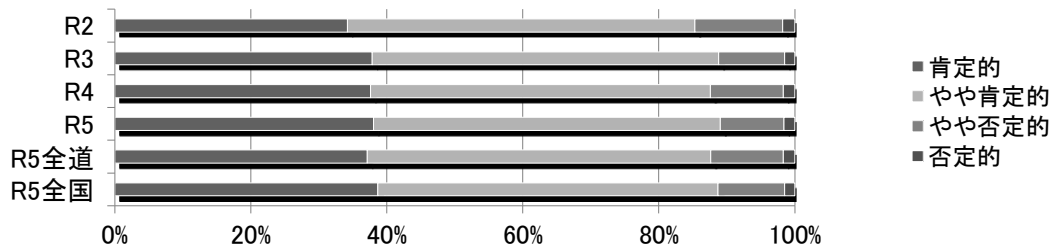
6 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。



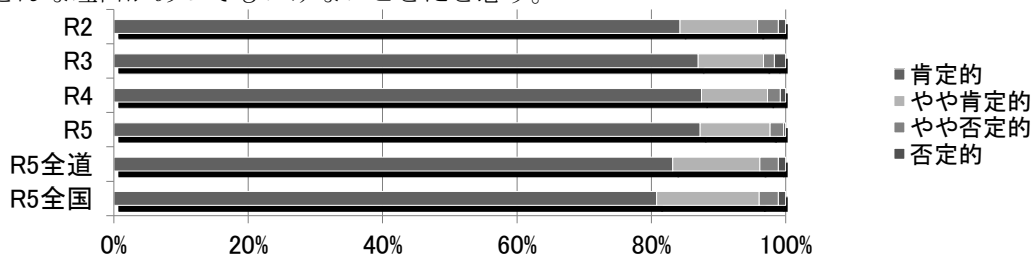
7 将来の夢や目標を持っている。



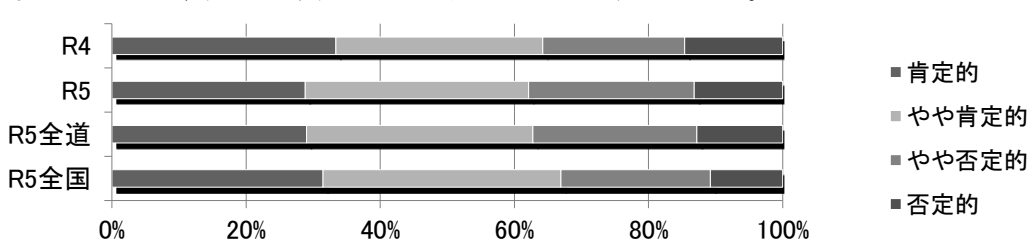
8 人が困っているときは、進んで助けている。



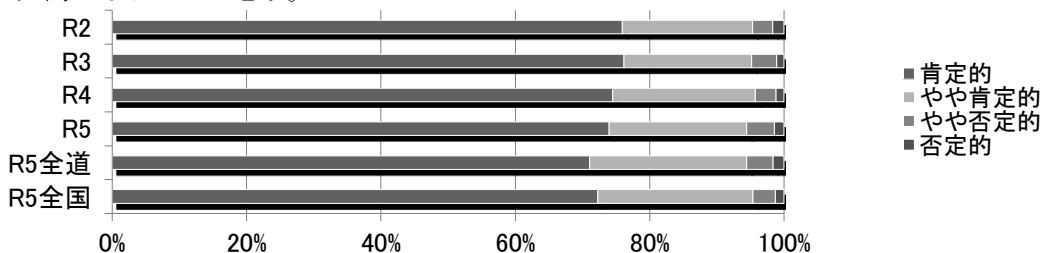
9 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



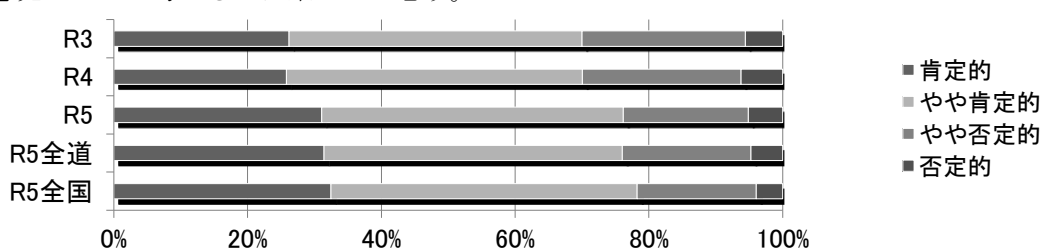
10 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できる。



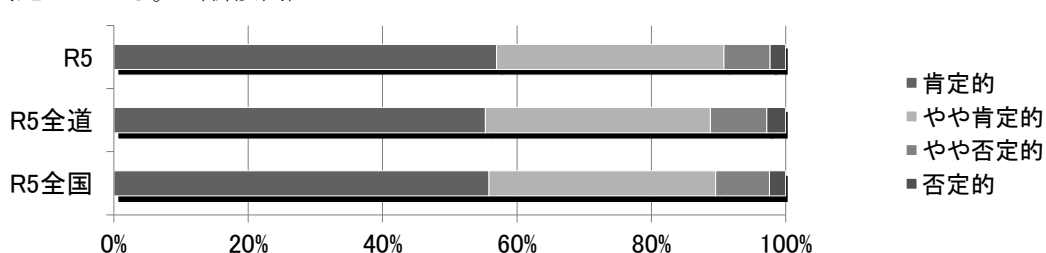
11 人の役に立つ人間になりたいと思う。



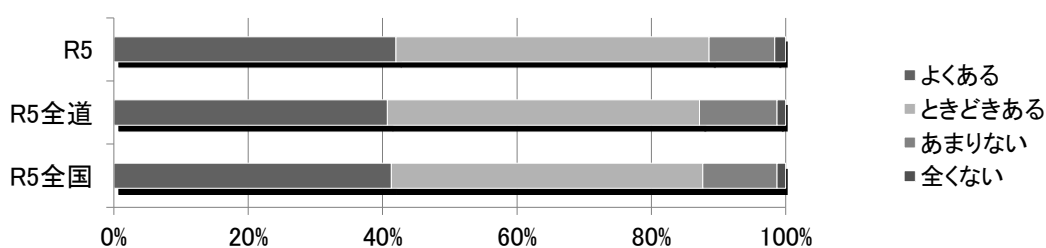
13 自分と違う意見について考えるのは楽しいと思う。



14 友達関係に満足している。（新設問）



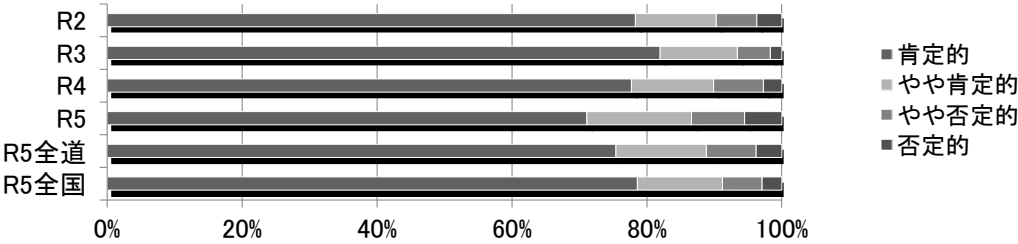
15 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることがある。（新設問）



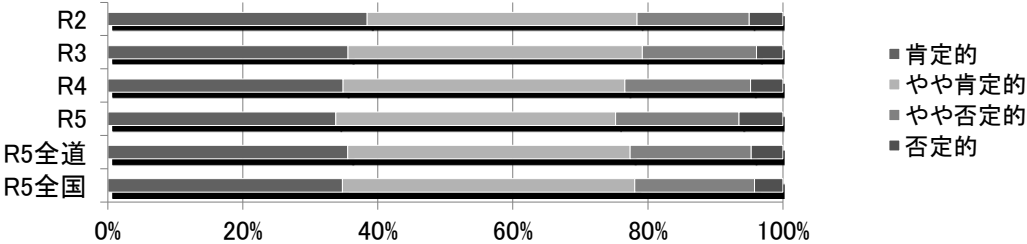
生活習慣・学習習慣

【考察】「普段（月～金）、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。」では、2時間以上学習していると回答した割合が全国平均を大きく下回っている。同様に、「休みの日」においても、2時間以上学習している割合は、全国平均を下回っている。さらに、R2年度から「30分未満」及び「全くしない」と回答した割合が年々増加している。本市の中学生は、スクリーンタイム※が長いという傾向がある。スクリーンタイムを減らし、学習時間を増やすことが必要であるとうかがえる。
※スクリーンタイム…携帯電話やテレビ等を使用する画面の視聴時間

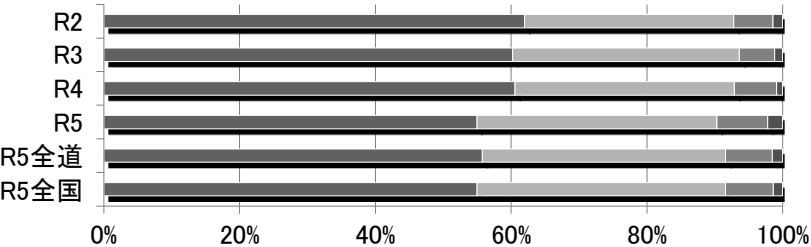
1 朝食を毎日食べている。



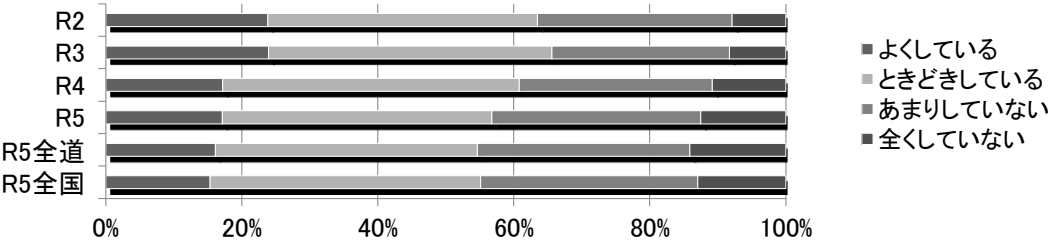
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



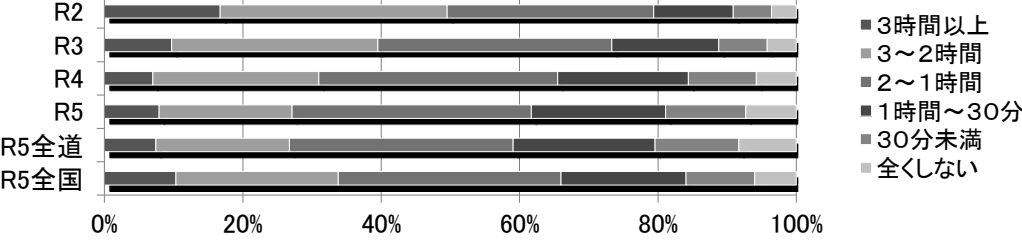
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



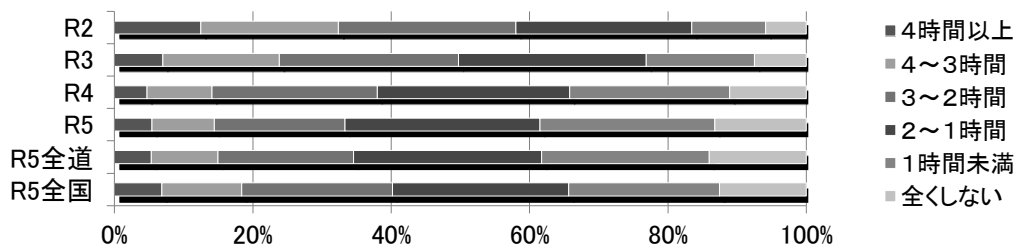
16 家で自分で計画を立てて勉強をしている。（学校の授業の予習や復習を含む）



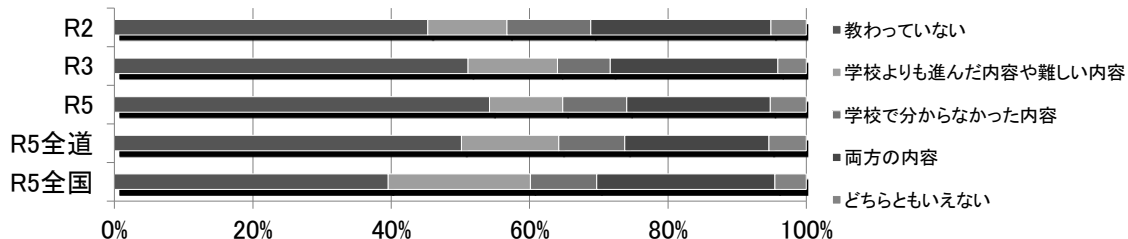
17 普段（月～金）、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。（学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



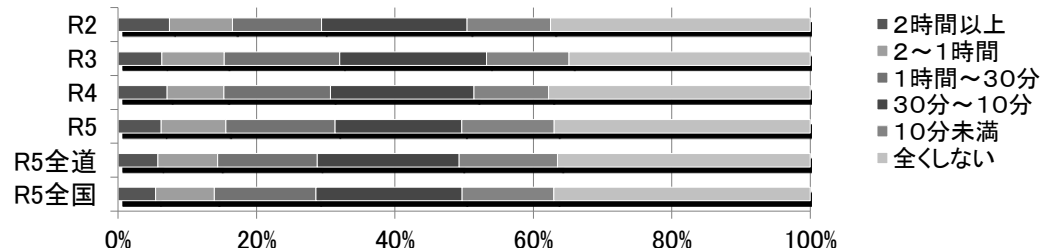
18 休み(土日等)の日の、1日当たりの学習時間。(学習塾、家庭教師、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)



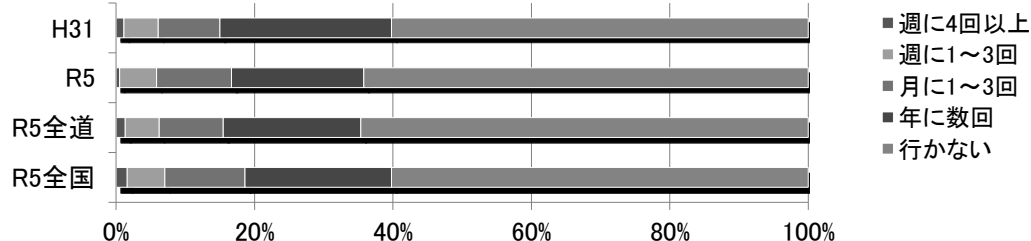
19 学習塾や家庭教師の先生に教わっている。(インターネットを通じて教わっている場合も含む)



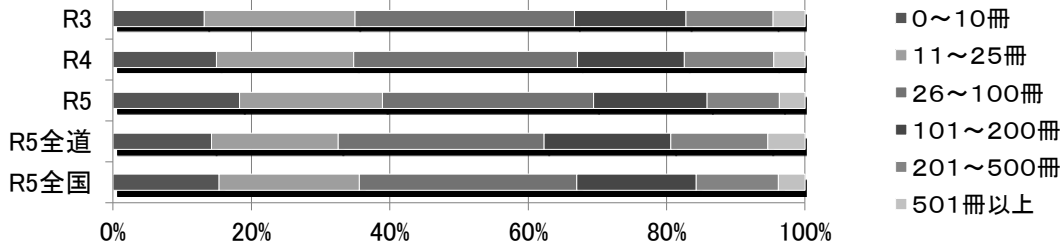
20 普段(月～金)、家や図書館における1日あたりの読書時間。



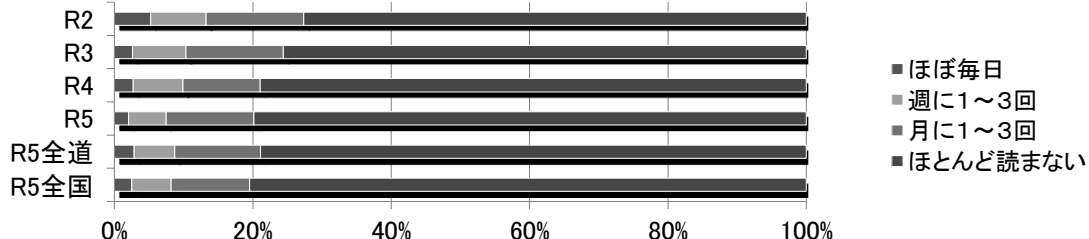
21 本を借りたり読んだりするために学校図書館や地域の図書館を利用する割合。



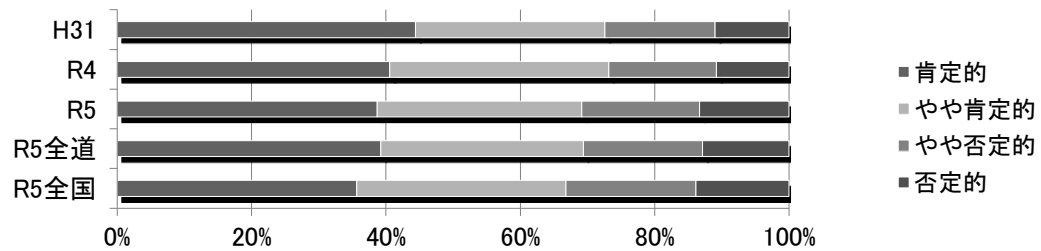
22 家にある本の冊数。(雑誌、新聞、教科書は除く)



23 新聞を読んでいる。



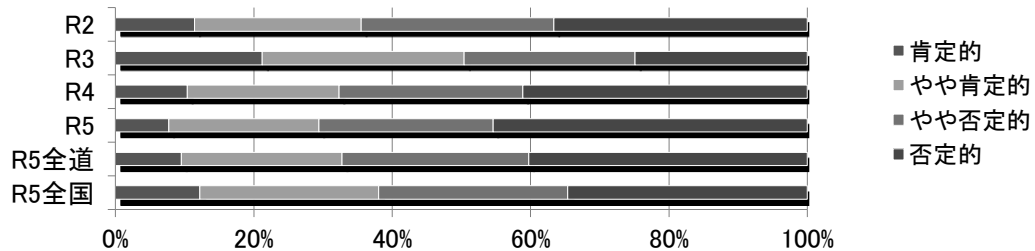
24 読書は好きですか。



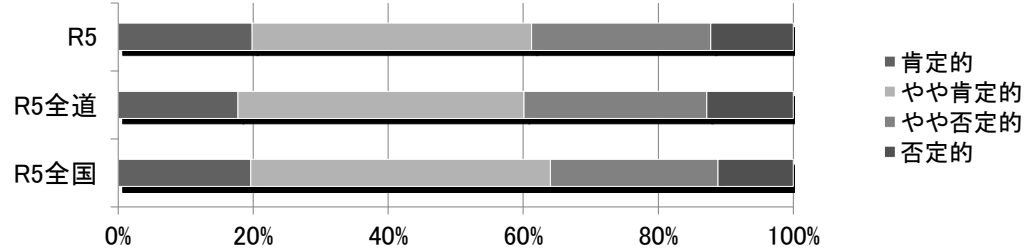
地域や社会への関心

【考察】 すべての設問において、肯定的に回答した割合が全国平均を下回っている。特に、「今住んでいる地域の行事に参加している。」と回答した割合が、全国平均より大きく下回っていることから、多くの生徒が地域や社会に関心を持ち参画していくために、学校と家庭、地域が一体となって、地域の人とつながり、地域の教育資源を積極的に活用していくことが必要であるとうかがえる。

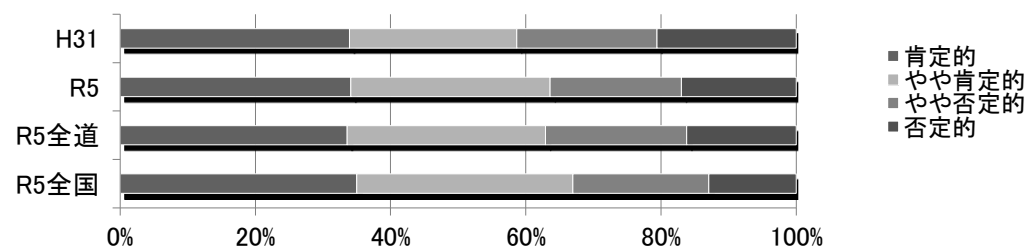
29 今住んでいる地域の行事に参加している。



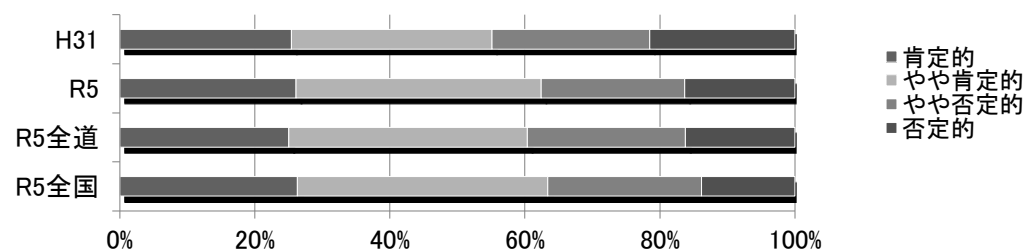
30 地域や社会をよくするために何かしてみたい。（新設問）



31 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしたい。



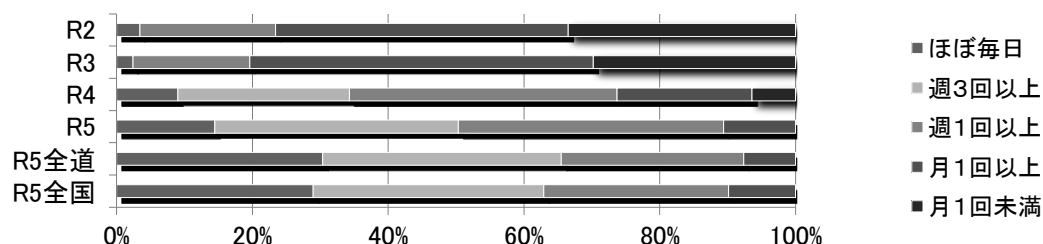
32 日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい。



I C T の活用

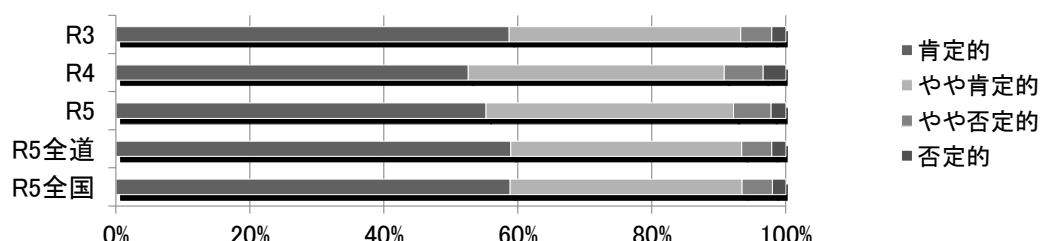
【考察】 I C T 機器の活用の状況について、全国と大きな差がある。「1, 2 年生のときに受けた授業で P C ・ タブレットなどの I C T 機器を使用した割合。」では、「ほぼ毎日」及び「週 3 回以上」と回答した割合が、全国平均を大きく下回っている。9 0 % の生徒が、I C T の活用が勉強の役に立つと回答していることから、早急に通信環境を改善し、I C T 機器を個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために活用できる環境を整える必要があるとかがえる。

33 1, 2 年生のときに受けた授業で P C ・ タブレットなどの I C T 機器を使用した割合。

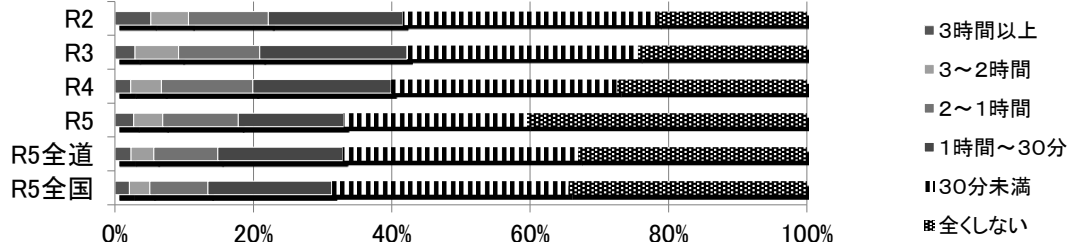


※ R 2 ～ R 3 については、ほぼ毎日、週 1 回以上、月 1 回以上、月 1 回未満の 4 項目

34 学習の中で P C ・ タブレットなどの I C T 機器を使うのは勉強の役に立つ。



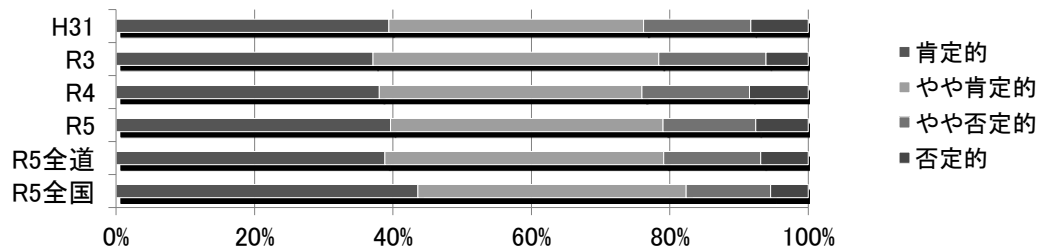
35 普段（月～金）、1 日にスマホやコンピュータ等の I C T 機器を勉強のために使用する時間。



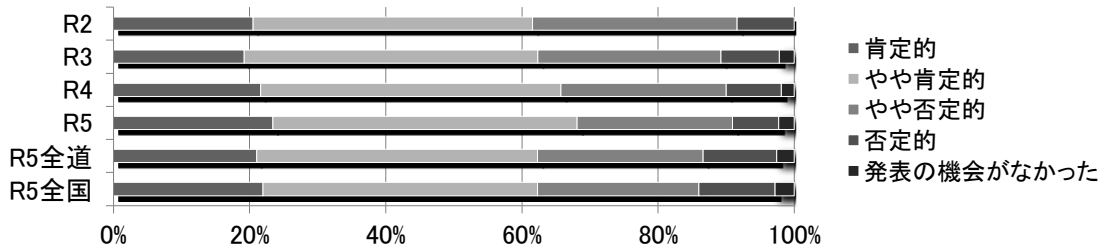
学校生活

【考察】 「学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができる。」では、否定的に回答した生徒が 3 0 % 程度いることから、見直しをもたせて学習に取り組ませることや振り返りの内容を充実させ、学びを自己調整する力を育むよう指導していく必要があるとかがえる。「総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。」では、肯定的に回答した割合が全国平均を大きく上回っており、探究的な活動が計画的に行われていることがうかがえる。

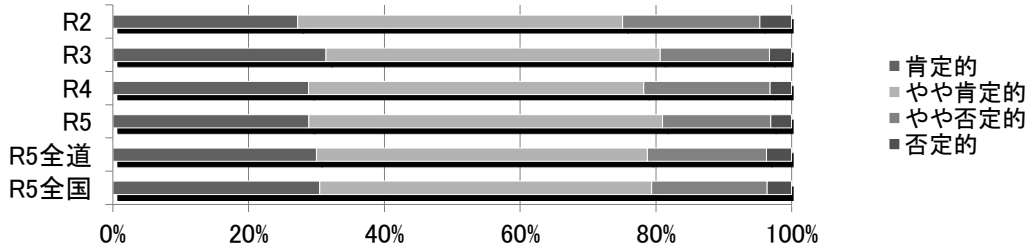
12 学校に行くのは楽しい。



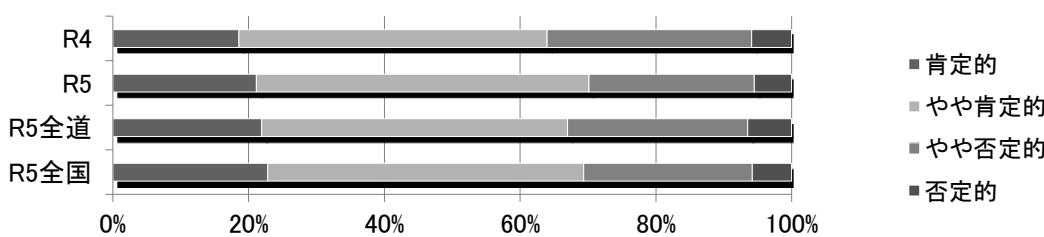
36 1， 2年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。



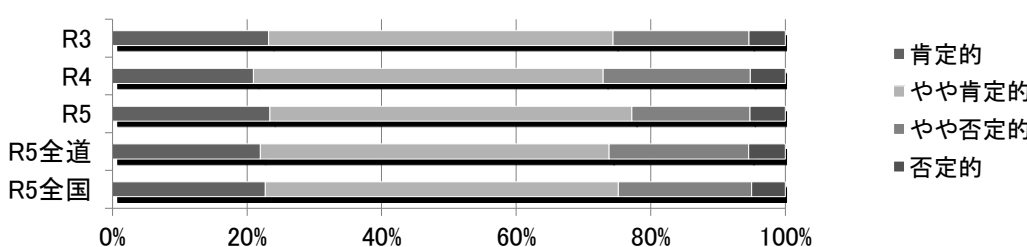
37 1， 2年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



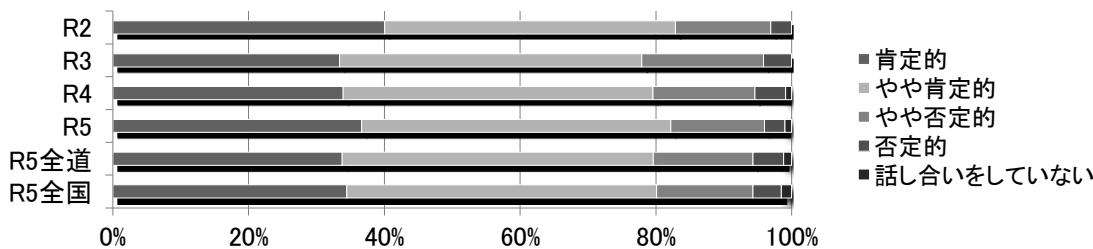
38 1， 2年生までに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていた。



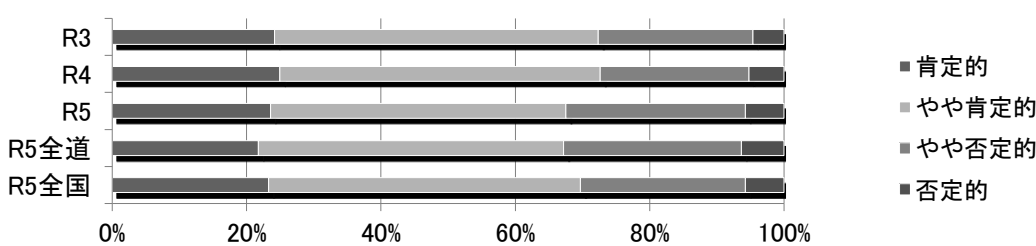
39 1， 2年生までに受けた授業は、自分にあった考え方、教材、学習時間などになっていた。



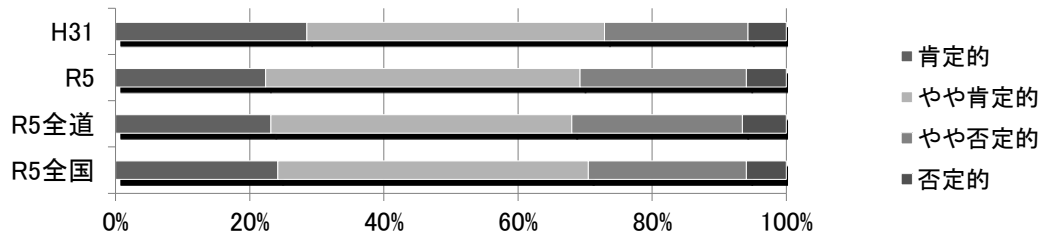
40 学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



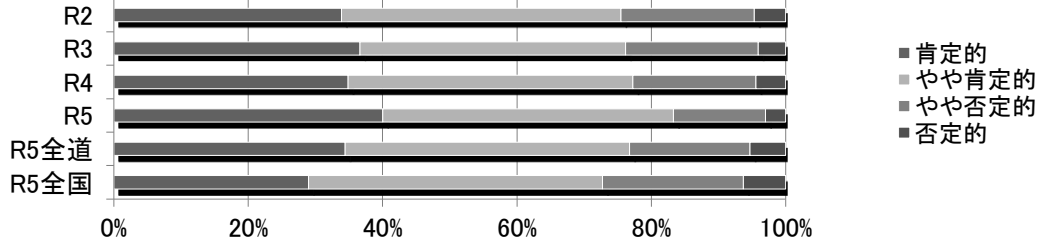
41 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができている。



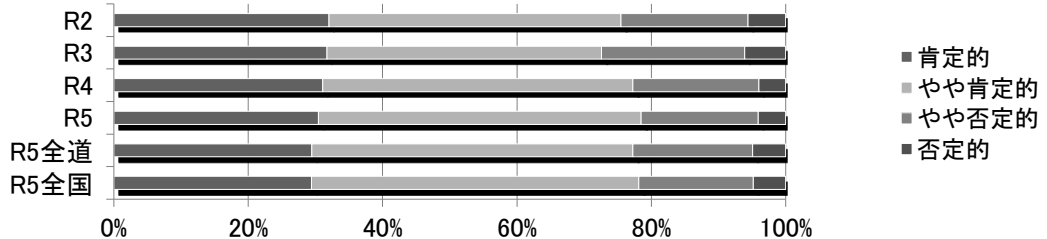
42 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。



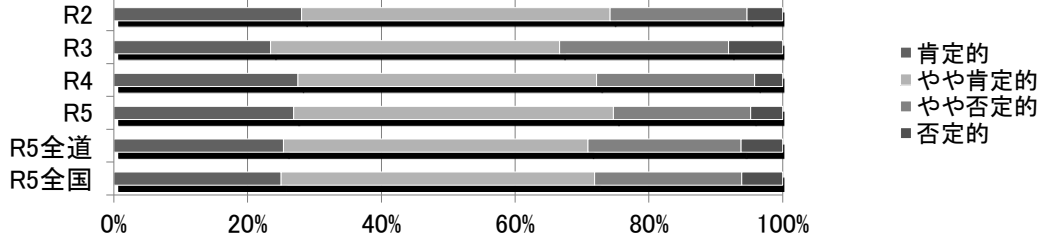
43 総合的な学習の時間では、自分で課題を立て、情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる。



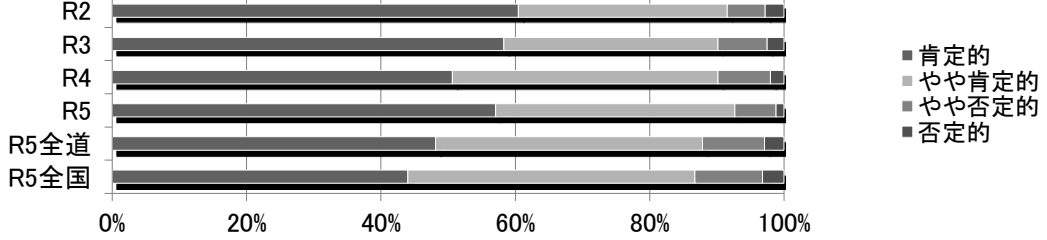
44 学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている。



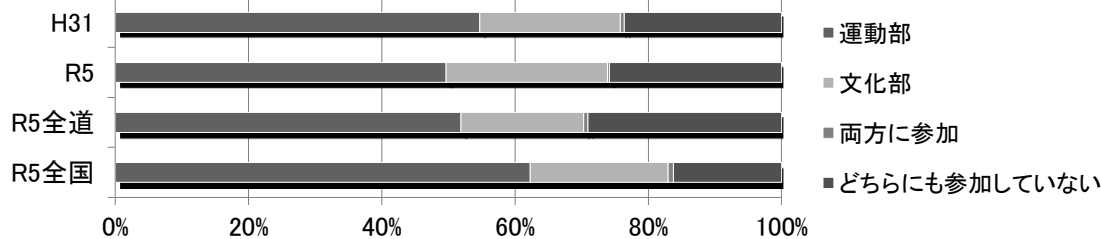
45 学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。



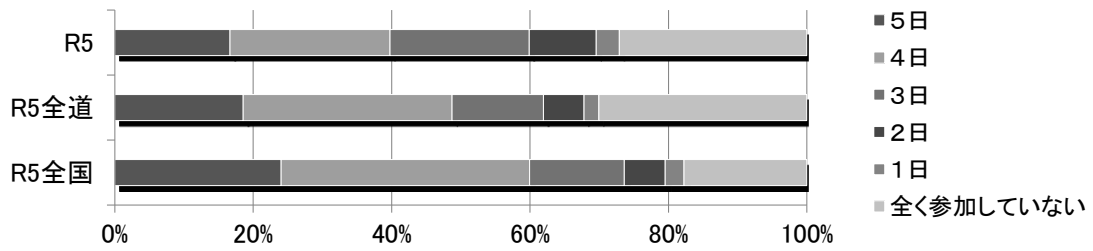
46 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。



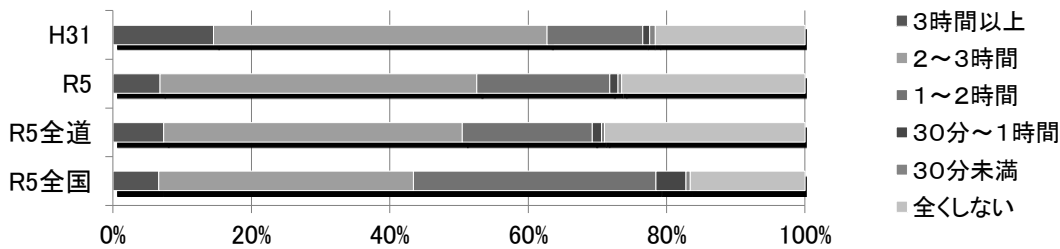
25 学校の部活動に参加している割合。



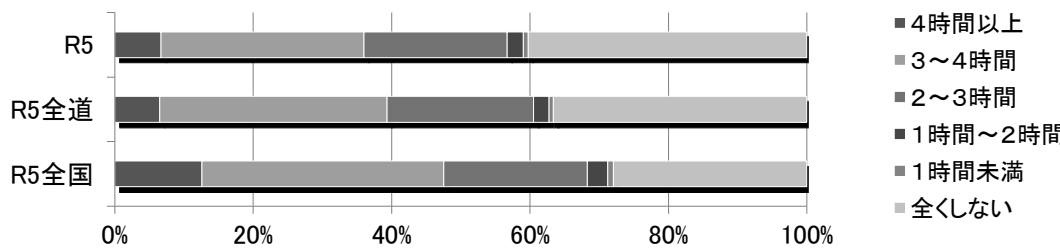
26 平日、学校の部活動に参加している日数。（新設問）



27 平日、1日あたりの部活動の時間。

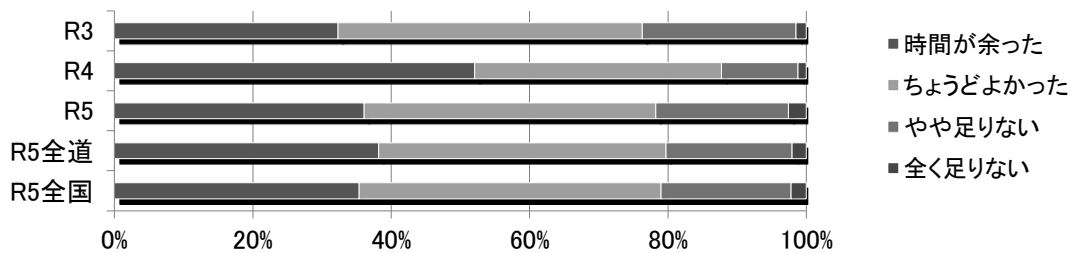


28 学校が休みの日、1日あたりの部活動の時間。（新設問）

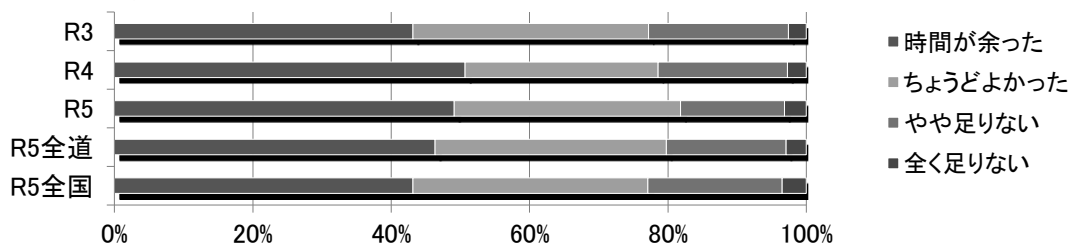


調査問題の解答時間

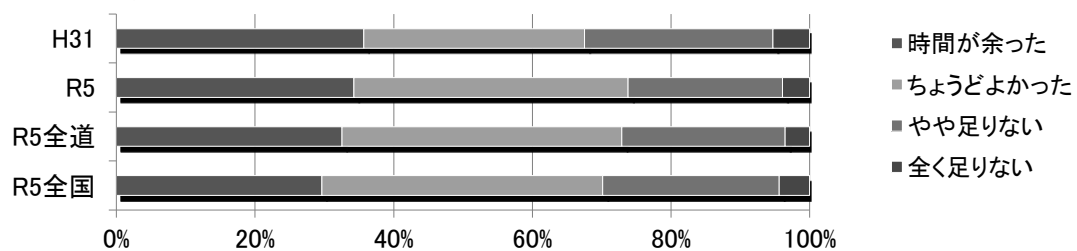
国(2) 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



数(2) 調査問題（数学）の解答時間は十分だった。



英(2) 調査問題（英語）の解答時間は十分だった。



令和5年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

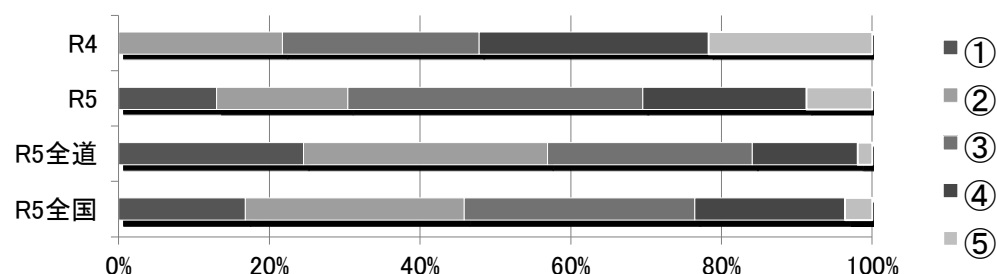
学力向上に向けた取組

〈ICTの活用〉

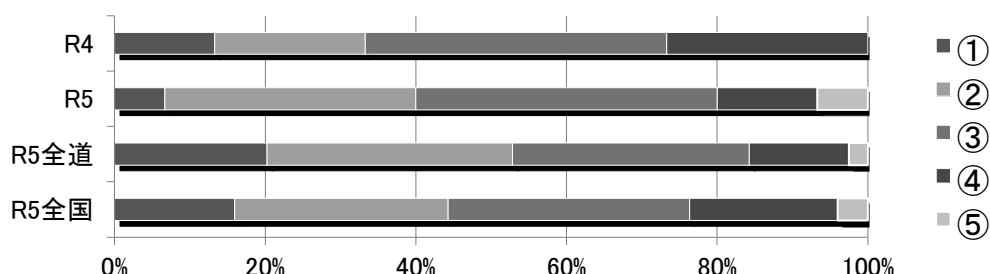
- ◆ 児童・生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童・生徒一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか

①ほぼ毎日 ②週3回以上 ③週1回以上 ④月1回以上 ⑤月1回未満

【小学校】



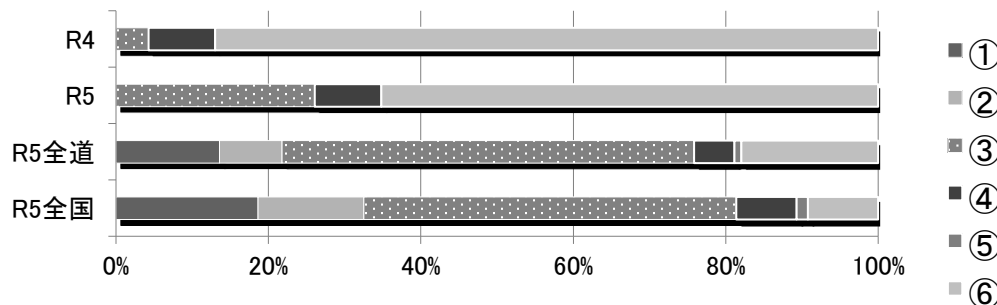
【中学校】



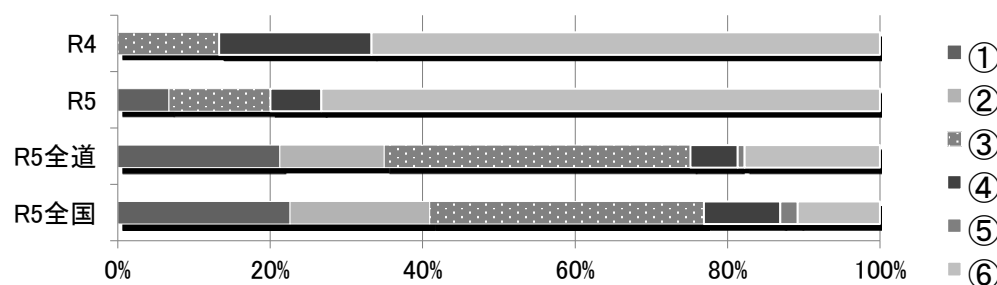
- ◆ 児童・生徒一人一人に配備されたP C・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか

①毎日持ち帰って、毎日利用 ②毎日持ち帰って、時々利用 ③時々持ち帰って、時々利用
④持ち帰らせていない ⑤持ち帰ってはいけない ⑥臨時休業のみ

【小学校】



【中学校】



【考察】

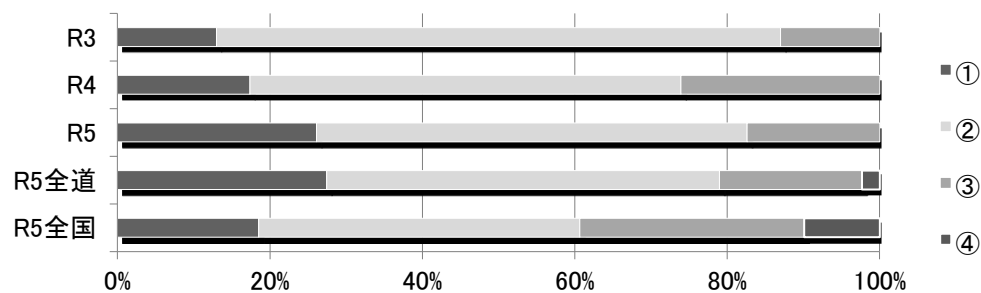
I C Tの活用では、「児童・生徒が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童・生徒一人一人に配備されたP C・タブレットなどのI C T機器をどの程度使用させていますか。」では、週3回以上活用していると回答した割合が、小学校、中学校ともに全国平均を下回っている。また、「児童・生徒一人一人に配備されたP C・タブレットなどの端末を、どの程度家庭で利用できるようにしていますか。」では、全国、全道が「毎日持ち帰らせ、毎日利用している」と回答した割合が15%程度であることから、家庭での持ち帰りの活用を含めて、I C T機器を利用した学習の在り方を検討していく必要がある。

〈小中連携の取組〉

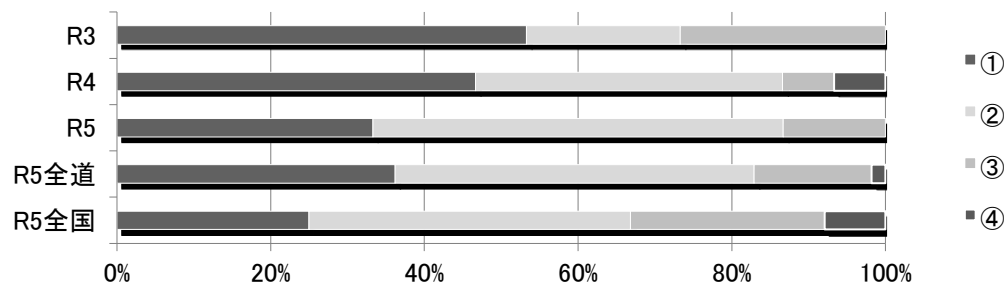
- ◆ 近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った。

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行わなかった ④全く行わなかった

【小学校】



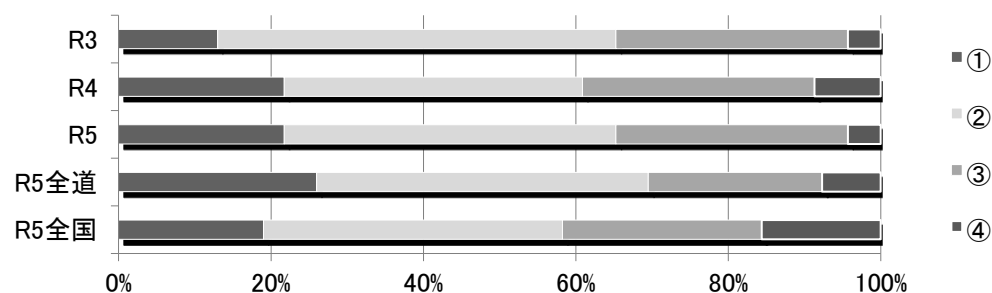
【中学校】



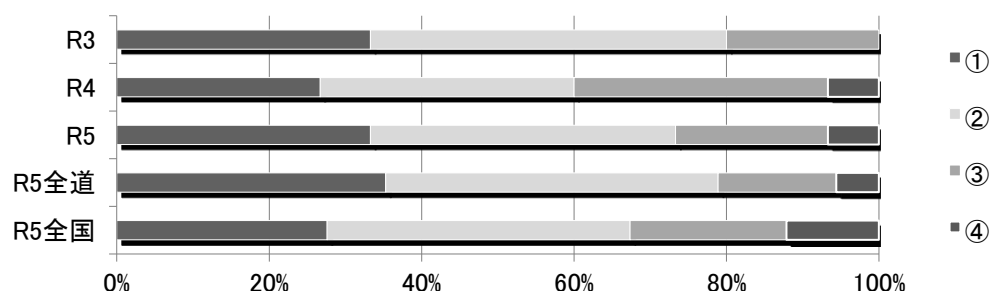
- ◆ 前年度までに、近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか。

①よく行った ②どちらかといえば行った ③あまり行わなかった ④全く行わなかった

【小学校】



【中学校】



【考察】

小・中連携教育の観点では、「近隣等の小・中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組を行った。」及び「前年度までに、近隣等の小・中学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行いましたか。」では、小学校、中学校とも肯定的に回答した割合が全国平均を上回っている。「Tomakomai All-9」を推進し、9年間で児童・生徒を育てていくという取組の成果が出てきているとかがえる。今後も、よりつながりを強化して、効果的な小中連携を行っていく必要があるとかがえる。